

給湯暖房機 BL認定品

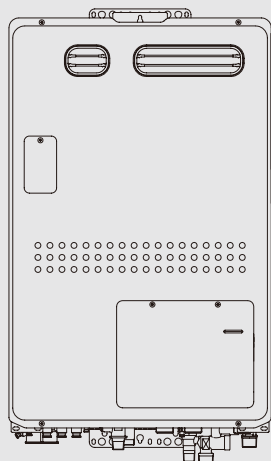
取扱説明書（保証書付）

型番

135-H730/H732/H734/H735/H736型
135-H740/H742/H744/H745/H746型
135-H750/H752/H754/H755/H756型
135-H760/H762/H764/H765/H766型
535-H738/H748/H758/H768型

型式名

YG2468R YG2468RT YG2468RN YG2468RM YG2468RH YG2468FT
YG2467R YG2467RT YG2467RN YG2467RM YG2467RH YG2467FT
YG1668R YG1668RT YG1668RN YG1668RM YG1668RH YG1668FT
YG1667R YG1667RT YG1667RN YG1667RM YG1667RH YG1667FT



（例：135-H730型）

まずはじめに

ご使用前に

お湯・シャワー

お風呂

暖房

その他の機能

ユーザー設定

必要なとき

困ったとき

ご参考



この取扱説明書の見かた

このたびは大阪ガスの給湯暖房機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。なお、ご不明な点があれば販売店または、もよりの大阪ガスにお問い合わせください。
- 保証書の内容もよくお読みいただき、保証期間・保証内容を確認してください。
- この取扱説明書(保証書付)は、いつでもご覧になれるところに保管してください。

絵表示の説明

- 》**しくみ** リモコンや給湯暖房機のしくみ
- ★**ヒント** 使いかたのヒント
- ♪**注意** ご注意ください
- ▶**参照** 参照先 または 参照ページ
- 台所** **浴室** その設定ができるリモコンを示しています

文中の(P○)の数字は参照ページを表します

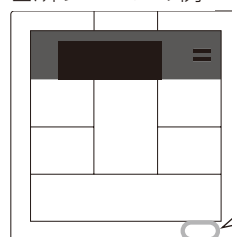
説明中のリモコン表示画面は一例です

実際の表示画面は、設置状態や使用状況によって異なります。

リモコン型番を確認してください

この取扱説明書に記載のないリモコンをお使いの場合は、そのリモコン専用の取扱説明書がありますので、そちらも併せてご覧ください。

台所リモコンの例



リモコン型番はここに記載しています

※浴室リモコンには、型番は記載していません。

まずはじめに

この取扱説明書の見かた	2
もくじ	3
必ずお守りください(安全上の注意)	4

ご使用前に

初めてお使いになるときは	10
各部のなまえとはたらき(機器本体)	11
各部のなまえとはたらき(リモコン)	12
台所リモコンで時計をあわせる	16
時計を表示させる	17

お湯・シャワー

お湯を出す	18
お湯の温度を調節する	19
お湯の温度を調節できないときは <優先切替>	20

お風呂

お風呂にお湯はりをする <ふろ自動>	22
ふろ温度を調節する	24
ふろ湯量を調節する	25
ぬるいお風呂のお湯を熱くする/ 残り湯をあたため直す <追いだき>	26
お風呂のお湯を増やす<たし湯>	28
お風呂のお湯をぬるくする<たし水>	29
お湯はりを予約する<ふろ予約>	30

暖房

暖房する	32
------	----

その他の機能

浴室から台所を呼び出す<呼出>	33
リモコンの音量を変更する	34

ユーザー設定

使い勝手に合わせて設定を変更する	35
------------------	----

必要なとき

凍結による破損を予防する	37
長期間使用しないとき(水抜きのみ)	40
日常の点検・お手入れのしかた	43
法定点検について【屋内設置形の場合】	45
「あんしん点検」のおすすめ【屋外設置形の場合】	47

困ったとき

故障・異常かな?と思ったら	48
リモコンに3桁の数字が点滅しているとき<故障表示>	52

ご参考

アフターサービスについて	54
主な仕様	55
設定範囲と初期設定	57
リモコン音声一覧	58

保証書

裏表紙

必ずお守りください(安全上の注意)

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

⚠危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

⚠危険

ガス漏れに気づいたときは、

1. すぐに使用をやめる
2. ガス栓を閉める
また、メーターのガス栓も閉める
3. 【屋内設置形の場合】
窓や戸を開ける
4. 販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する



必ず守る

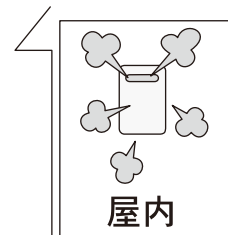
【屋外設置形の場合】

屋内に設置しない

一酸化炭素中毒の原因になります。



禁止



ガス漏れ時は、絶対に

- ・火をつけない
- ・電気器具のスイッチの入・切をしない
- ・電源プラグの抜き差しをしない
- ・周辺の電話も使用しない



火気禁止

火や火花で引火し、
火災の原因になります。



【屋内設置形の場合】

給排気筒トップや給・排気筒が外れたり、
穴があいたり、詰まった状態で使用しない

排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒
の原因になります。



禁止



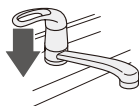
警告

地震、火災などの緊急の場合は、次の手順に従う



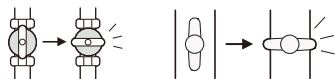
必ず守る

1. 給湯栓を閉める



2. リモコンの運転スイッチを「切」にする

3. ガス栓・給水元栓を閉める



点火しない場合または、使用中に異常な臭気、異常音、異常な温度を感じた場合や、使用中で消火する場合は、ただちに使用を中止しガス栓を閉める

使用中に異常があった場合は、「故障・異常かな?」と思ったら「リモコンに3桁の数字が点滅しているとき<故障表示>」(P48~53)に従い処置をする

上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止し、販売店に連絡する

シャワー使用時に使用者以外が、リモコンの温度を変えたり、運転スイッチを「切」にしたり、「優先」を切り替えたりしない



禁止

高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチを「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

子供を浴室内で遊ばせない
子供だけで入浴させない



禁止

思わぬ事故の原因になります。

太陽熱温水器とは絶対に接続しない



禁止

お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器の故障の原因になります。

ガス配管接続工事には専門の資格、技術が必要なため、機器の設置・移動・取り外しおよび付帯工事は、販売店または、もよりの大阪ガスに依頼する



必ず守る

安全に使用していただくため。

お客さまご自身では絶対に分解したり、修理・改造はおこなわない



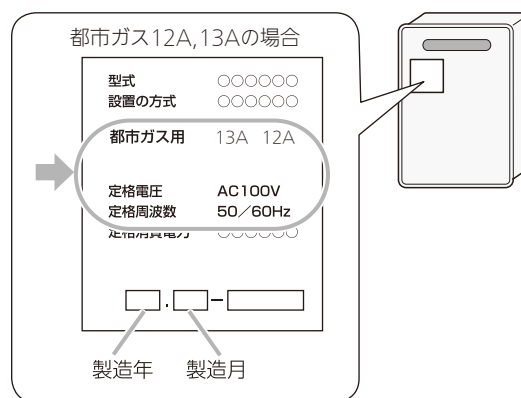
分解禁止

思わぬ事故や故障の原因になります。

必ず銘板に表示のガス・電源で使用する



必ず守る



表示のガス種および電源が一致しないと、不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常点火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。特に転居した場合は、必ずガスの種類(電源の種類)が一致しているかどうか確認してください。わからない場合は、販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する



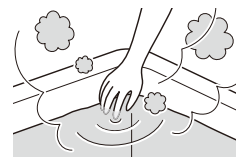
高温注意

60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときには特に注意してください。やけど予防のため。



浴槽の湯温を手で確認し、よくかきまぜてから入浴する

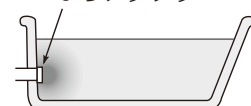
やけど予防のため。



ふろアダプターから熱いお湯が出るので注意する

ふろアダプター付近は熱いのでさわらないでください。やけど予防のため。お湯はり・追いだきの完了後も、ふろアダプターから少しの間熱いお湯が出ます。

ふろアダプター



お湯はり中・自動保温中・追いだき中は、浴槽の排水栓を絶対に抜かない



水位が下がると、ふろアダプターから出る熱いお湯が直接体に触れる可能性があります。やけど予防のため。

禁止

(つづく)

必ずお守りください(安全上の注意)

必ずお守りください(安全上の注意)

(つづき)

警告

電源プラグはぬれた手でさわらない

感電の原因になります。



ぬれ手禁止



感電注意

灯油、ガソリン、ベンジンなど、引火のおそれのある物を機器本体や排気口・給排気筒トップのまわりで使用しない

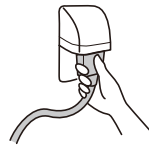


禁止

火災の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不十分だと、感電や火災の原因になります。



必ず守る

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベを機器本体や排気口・給排気筒トップのまわりに置かない、使用しない



禁止

熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発するおそれがあります。

電源プラグのホコリは定期的に取り除く

ホコリがたまると、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



必ず守る

燃えやすい物を機器本体や排気口・給排気筒トップのまわりに置かない(洗濯物、新聞紙、灯油など)



禁止

火災の原因になります。

屋内設置形の給排気筒トップ

屋外設置形の機器本体



電源コード、電源プラグの破損・加工をしない
束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を載せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工をしない。



禁止

感電、ショート、火災の原因になります。

燃えやすい物とは離す(樹木、木材、箱など)

火災予防のため。



必ず守る

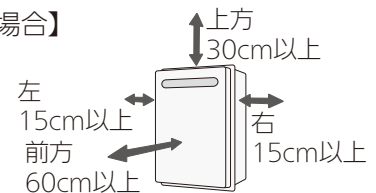
機器本体やガスの配管、排気口・給排気筒トップ・給気筒・排気筒などに乗ったりして、無理な力を加えない



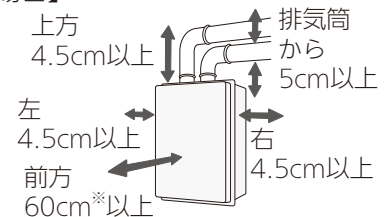
禁止

ケガや、機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。

【屋外設置形の場合】



【屋内設置形の場合】



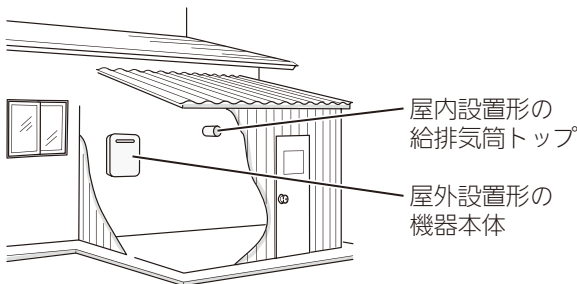
※印はアフターサービス上の寸法です。

増改築などで屋内状態にしない(波板囲いなどをしない)



禁止

一酸化炭素中毒・火災の原因になります。



屋内設置形の給排気筒トップ

屋外設置形の機器本体

【床暖房が設置されている場合】

床暖房の上で長時間座ったり、寝そべったりしない



禁止

低温やけどを起こすおそれがあります。

特に次のような方が使用される場合はまわりの方が注意してあげることが必要です。

- 乳幼児・お年寄り・病人など自分の意思で体を動かせない方
- 疲労の激しいときやお酒・睡眠薬を飲まれた方
- 皮膚や皮膚感覚の弱い方

外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時に機器本体・給排気筒トップが養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない



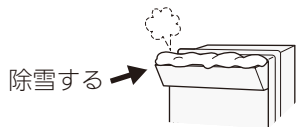
禁止

不完全燃焼や一酸化炭素中毒、異常点火の原因になります。

(つづき)

【排気方向を上方へ変更するカバーを取り付けている場合】

カバーに雪が積もっていたら、**除雪する** 必ず守る
雪で排気が閉塞すると、不完全燃焼や機器の故障の原因になります。



【屋内設置形の場合】
屋外に設置しない

雨水が浸入したり、炎が風にあおられたりして、故障や火災の原因になります。



禁止

⚠️注意

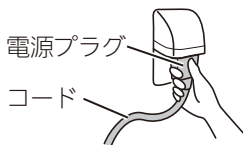
必ずアースする

機器が故障した場合、感電の原因になります。アースがされていない場合は、販売店または、アースするもよりの大阪ガスにご相談ください。



電源プラグは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く

コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。



必ず守る

機器の給気口がホコリ・ゴミなどでふさがっていないか確認する

不完全燃焼の原因になります。



必ず守る

子供を機器の周囲、直下で遊ばせない

思わぬ事故の原因になります。



禁止

【床暖房が設置されている場合】
床暖房の上に電気カーペットを敷かない

床材の割れ、そり、すき間の原因になります。



禁止

床暖房に鋭利なものを落としたり、刺したり、くぎ打ちなどをしない

温水パイプが破損します。

子供が浴槽にもぐったりしないように注意する

思わぬ事故の原因になります。



必ず守る

給湯、シャワー、お風呂、暖房以外の用途には使用しない

思わぬ事故を予防するため。



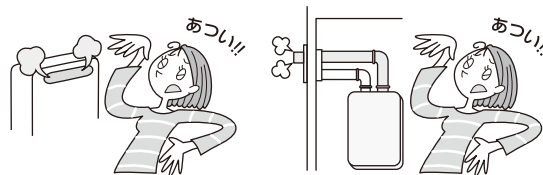
禁止

使用中や使用後しばらくは、排気口・給排気筒トップ・排気筒付近に触れない

やけど予防のため。



接触禁止



機器の点検・お手入れ・水抜きをする場合、暖房放熱器を停止し、リモコンの運転スイッチを「切」にし、機器が冷えてからおこなう

やけど予防のため。

機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。



必ず守る

乾電池に関する注意(取り替え機器についてのお願い)

機器を取り替えた場合、旧機器は専門の業者に処理を依頼してください。

もしお客さまで旧機器の処理をされる場合、乾電池を使用している機器は、乾電池を取り外してから正規の処理をしてください。

リモコンには磁石を使用しています

磁石の力は非常に微弱ですが、ペースメーカーなど医療機器を使用している方は、医師とご相談のうえ使用してください。

リモコンのスピーカーに耳を近づけない

大きな音が出る場合があります、聴覚障害などを引き起こす原因になります。



禁止

必ずお守りください(安全上の注意)

お願い

雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグを電源コンセントから抜く(またはブレーカーを落とす)



電源プラグを抜く

ぬれた手でさわらない(感電のおそれがあります)

雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。



ぬれ手禁止

雷がやんだあとは電源プラグを電源コンセントに差し込み、時計をあわせてください。

※冬期は、電源プラグを長時間抜くと凍結のおそれがあります。



感電注意

浴槽のふろアダプターをタオルなどでふさがらない穴に物を詰めない

機器の故障の原因になります。



硫黄(イオウ)を含んだ入浴剤は使用しない

入浴剤や洗剤などを使用するときは、注意書きをよく読み、正しく使用する

入浴剤や洗剤の種類によっては、ふろアダプターや配管を腐食させたり、異物が出る原因になるものがあります。

温泉水、井戸水、地下水で使わない

水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。

この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない

雑用水として使用してください。

機器のまわりはきれいにしておく

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然していると、機器の内部にゴミブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

使用時の点火、使用後の消火を確認する

ガス事故防止のため。

リモコンの運転スイッチ「切」時にはお湯側から水を出さない

お湯を出すときには、運転スイッチ「入」を確認してください。運転スイッチ「切」時にお湯側から長時間水を出すと熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になる場合があります。シングルレバー式混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

排気ガスが直接建物の外壁・窓・アルミサッシなどや、物置などの塗装品などに当たらないように設置する増改築時も同様に注意する

ガラスが割れたり、変色したり、塗装がはがれたりする原因になります。

塀などを増設する場合は、機器の点検・修理に必要な空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する

塀などと機器との間に十分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。

(機器の修理・点検に必要な空間については、販売店または、もよりの大阪ガスに確認してください)

浴槽、洗面台はこまめに掃除する

水中に含まれる微量の銅イオンと、人体のあかやせっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、浴槽や洗面台が青く着色することがあります。

こまめに掃除をして湯あかやせっけん成分を洗い流すことで、これを予防できます。

積雪時には給気口・排気口・給排気筒トップの点検、除雪をする

雪により給気口・排気口・給排気筒トップがふさがれると、機器の故障の原因になります。

断水時は運転を停止し、給湯栓を閉める

給湯栓を開けたままにしておくと、給水が復帰したときに水が流れっぱなしになります。

断水復帰後の使い始めのお湯は飲まない、調理に使用しない

断水したときは飲用や調理用に適さない水が配管にとどまることがあります。

断水復帰後は、給湯栓から充分水を流してから使用する

(つづき)

停電後や、長期不在などで電源プラグを抜いたあとは、現在時刻を確認する

時計がリセットし、表示が「-：-」になる場合があります。

停電すると、運転が停止します

凍結による破損を予防する(P37)

暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な対策をしてください。凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

長期間使用しない場合、必要な処置をする(P40)

凍結および万が一のガス漏れを防止するため。

この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

業務用の用途では使用しない

この製品は家庭用ですので、業務用の用途で使用すると製品の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

給湯栓を絞りすぎない

消火する直前の量でお湯を使うと、高温になる場合があります。やけど予防のため。

【配管カバーまたは据置台がある場合】

配管カバーまたは据置台のフロントカバーを外した場合は、作業終了後、必ずフロントカバーを元どおり正しく取り付ける(P11)

特に強風が予測される場合は、ネジのゆるみがないか点検する

機器を取り替える場合

長年機器をご使用いただいた後、新しい機器に取り替えられる場合、機器本体の取り替えと併せて浴槽内のふろアダプターも新しい部品に交換してください。機器が正常に作動しない場合や故障の原因になります。

台所リモコンは0℃～40℃の室温で、浴室リモコンは0℃～50℃の室温で使用する

故障の原因になります。

浴室リモコンを設置している浴室で、ドライサウナを使用しない

ミストサウナを使用される場合も、50℃以下の室温で使用ください。

リモコンの掃除には、塩素系・酸性・アルカリ性の洗剤や研磨剤入りの洗剤、ベンジン・シンナーなどの有機溶剤、メラミンスポンジを使用しない
変色・変形・傷・割れなどの原因になります。

台所リモコン・増設リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない

炊飯器、電気ポットなどに注意。
故障の原因になります。

浴室リモコンに故意に水をかけない

防水型ですが、多量の水は故障の原因になります。

浴室リモコンに、シャンプー・リンス・入浴剤などを故意にかけない

変色などの原因になります。

リモコンを子供がいたずらしないよう注意する

リモコンを分解しない

故障や、思わぬ事故の原因になります。

【屋内設置形の場合】

機器に法定のラベルが貼付されていることを確認する

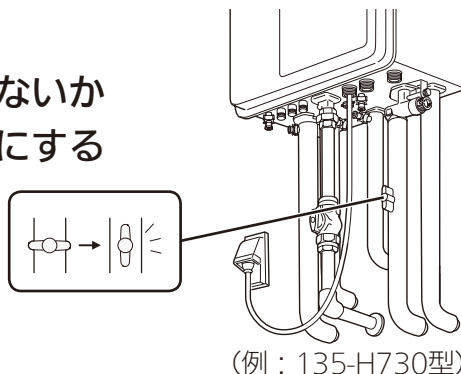
「特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律」の対象であり、法定資格を有する者以外、設置・移設できません。

初めてお使いになるときは

- 初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

手順

- 1** 給水元栓をゆっくり開け、
すべての水抜き栓から水漏れがないか
確認してから、給水元栓を全開にする
(水抜き栓の位置→P42)

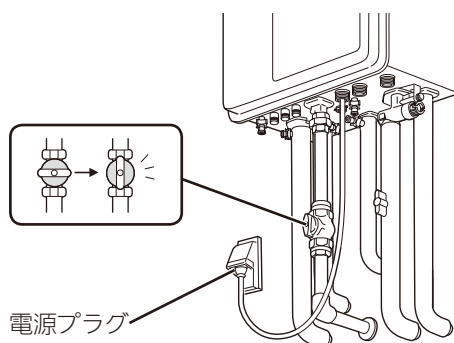


- 2** 給湯栓を開けて水が出ることを確認し、
再度閉める



- 3** ガス栓を全開にし、
電源プラグが電源コンセントに
差し込まれていることを
確認する

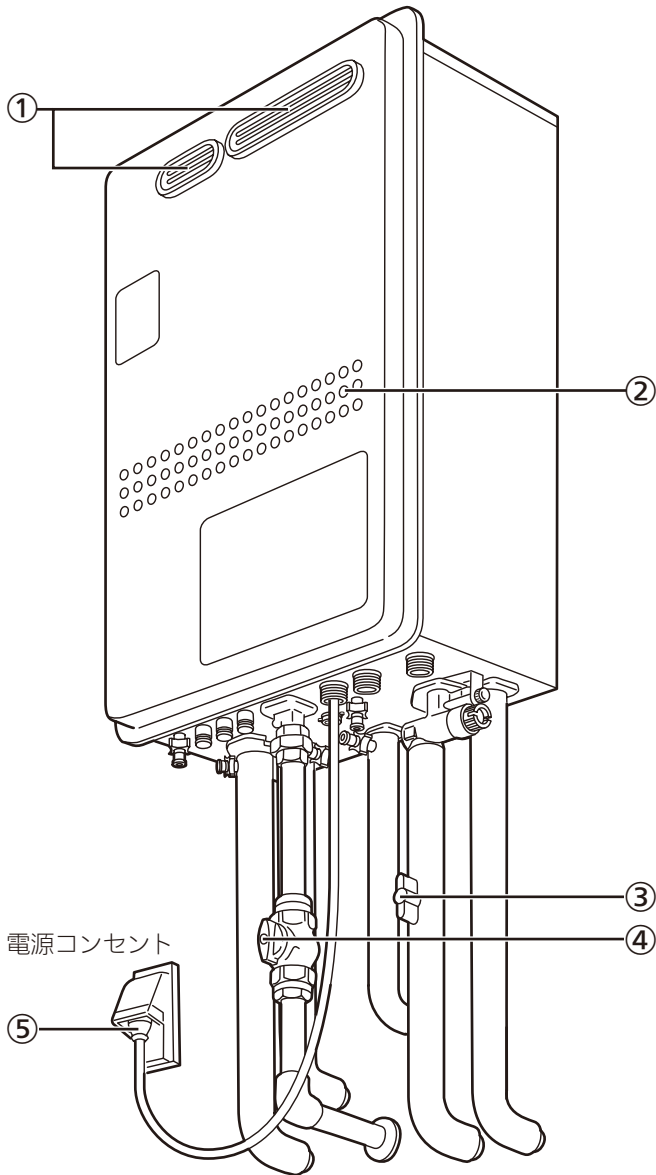
ぬれた手でさわらない



各部のなまえとはたらき(機器本体)

イラストは施工例です。配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。

● 屋外設置壁掛形

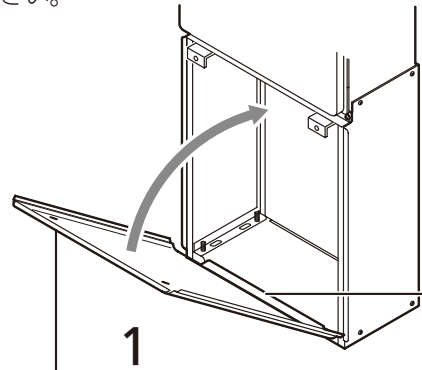


(例：135-H730型)

- ① 排気口
- ⑥ 排気筒
燃焼した排気ガスを出します。
- ② 給気口
- ⑦ 給気筒
燃焼用の空気を吸い込みます。
- ③ 給水元栓
- ④ ガス栓
- ⑤ 電源プラグ

● 配管カバーまたは据置台を設置している場合

フロントカバーを外したあとは、正しく取り付けてください。



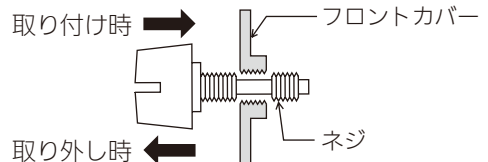
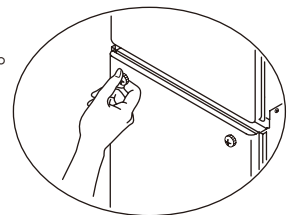
1

フロントカバーの下部を、ケースの前下部にきちんとはめる

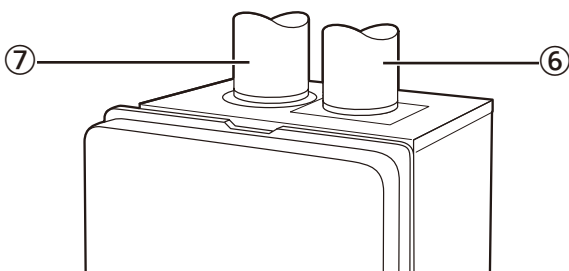
2

フロントカバーを閉め、ガタつきやゆるみのないようネジをしっかりと締める

※ネジは1か所の場合があります。



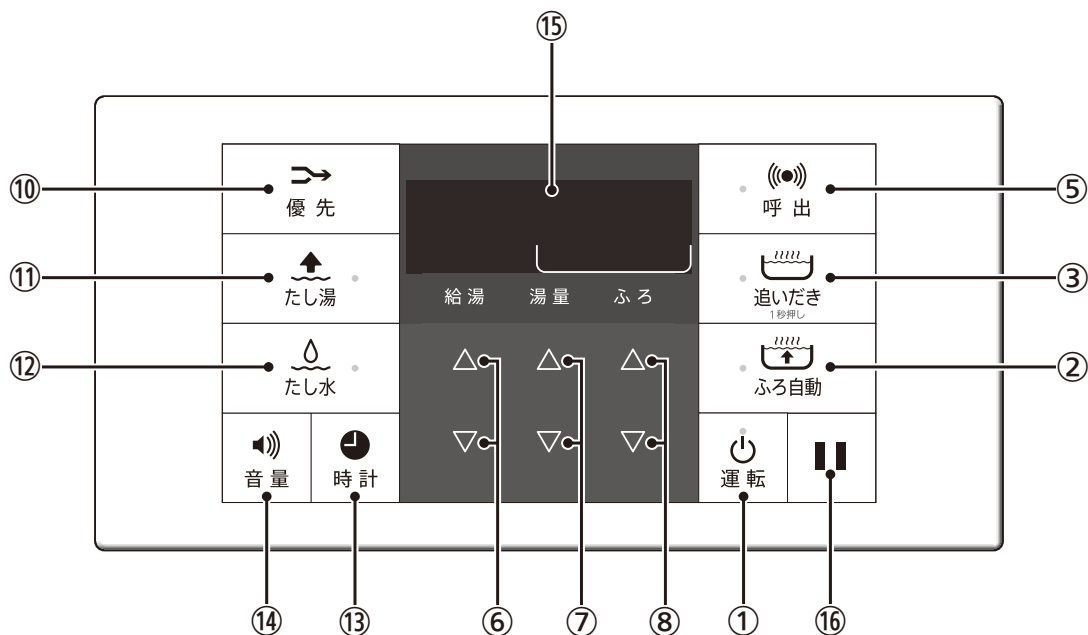
● 屋内設置形



各部のなまえとはたらき(リモコン)

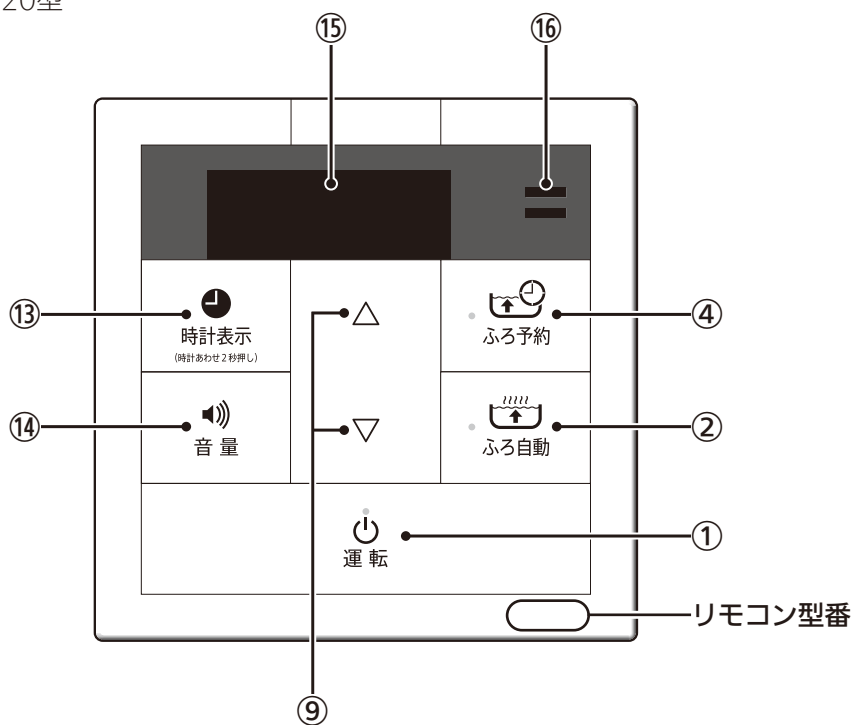
スイッチ部 ●各スイッチは押して操作します。スイッチを押すと操作音や音声(操作の内容)でお知らせします。
●スイッチを押すときは、各スイッチの中央部を押してください。

● 浴室リモコン <別売品>



● 台所リモコン <別売品>

● リモコン型番 : 238-N320型



① 運転スイッチ・ランプ

運転の「入」「切」に。

② ふろ自動スイッチ・ランプ

おふろにお湯はりをするとき。(P22)

③ 追いだきスイッチ・ランプ

ぬるいおふろのお湯を熱くするとき。(P26)

④ ふろ予約スイッチ・ランプ

お好みの時刻にお湯はりをするよう設定するとき。(P30)

⑤ 呼出スイッチ・ランプ

浴室から台所を呼び出すとき。(P33)

⑥ 給湯温度スイッチ

- ・給湯やシャワーのお湯の温度の設定に。(P19)
- ・その他の設定を変更するとき。

⑦ ふろ湯量スイッチ

ふろ湯量(P25)・追いだき時のたし湯量(P27)の設定に。

⑧ ふろ温度スイッチ

- ・ふろ温度の設定に。(P24)
- ・その他の設定を変更するとき。

⑨ 設定スイッチ

- ・給湯やシャワーのお湯の温度の設定に。(P19)
- ・時計をあわせるとき。(P16)
- ・その他の設定を変更するとき。

⑩ 優先スイッチ

給湯温度を変更できないときに押して優先表示を点灯させると、変更できます。(P20)

⑪ たし湯スイッチ・ランプ

おふろにお湯をたして増やすとき。(P28)

⑫ たし水スイッチ・ランプ

おふろに水をたしてぬるくするとき。(P29)

⑬ 【浴室リモコン】時計スイッチ

時計を表示させるとき。(P17)

【台所リモコン】時計表示スイッチ

時計をあわせるとき(P16)、または時計を表示させるとき。(P17)

⑭ 音量スイッチ

リモコンの音量を変更したいとき。(P34)

⑮ 表示画面

リモコンの節電のため、「表示の節電」機能を備えています。

お湯や暖房を使わないまま、またはスイッチを押さないまま約10分(浴室リモコンの場合、おふろの機能を使った場合は約1時間)たつと、表示が消えます。(運転ランプは点灯)

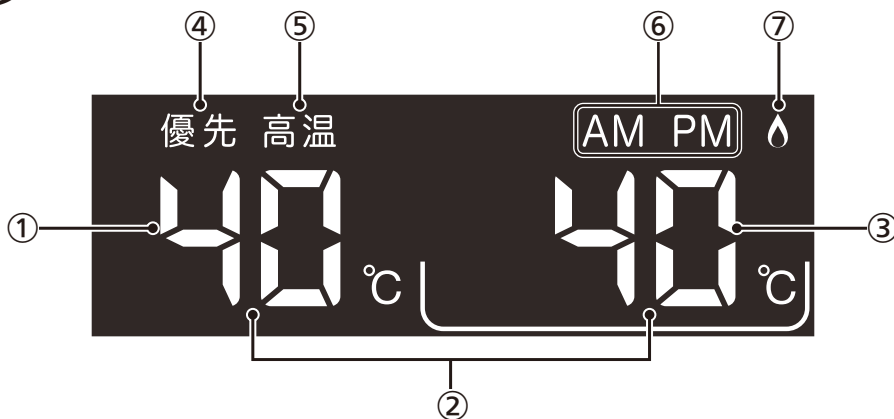
⑯ スピーカー

各部のなまえとはたらき(リモコン)(つづき)

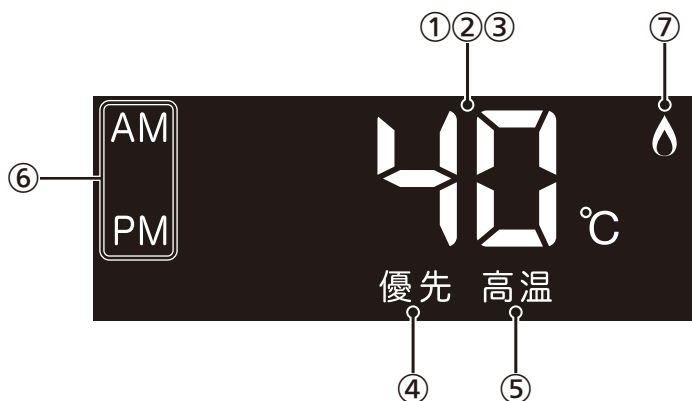
表示画面

下記の表示画面は説明用です。実際は、運転の状態によって、異なる表示をします。

● 浴室リモコン



● 台所リモコン



① 給湯温度表示

② 時計表示(P17)

- ・【浴室リモコン】時計スイッチを押すと表示します。
- ・【台所リモコン】時計表示スイッチを押すと表示します。

【浴室リモコン】ふろ湯量表示

ふろ湯量スイッチを押すと表示。(P25)

故障表示

不具合が生じたときに表示。(P52)

③ ふろ温度表示

- ・【浴室リモコン】ふろ温度を表示。
- ・【台所リモコン】台所リモコンでふろ自動・ふろ予約をすると、ふろ温度が約10秒間点滅。(P22,30)

④ 優先表示

点灯していれば、給湯温度が調節できます。(P20)

⑤ 高温表示

給湯温度を60℃に設定したときに点灯。(P19)

⑥ AM/PM表示

⑦ 炎マーク

給湯・お湯はり・追いだき・たし湯・暖房など、燃焼中に点灯。

* memo *

台所リモコンで時計をあわせる

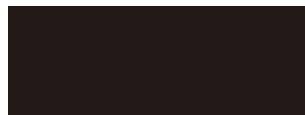
手順

操作できるリモコン **台所**

1 運転スイッチを押して「切」にする



表示例



》しくみ

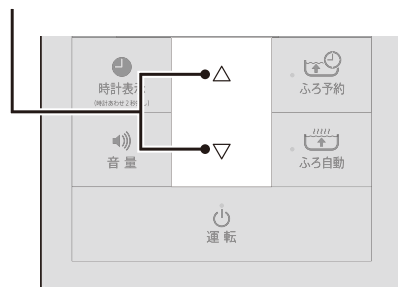
- 運転スイッチ「入」でも設定できます。

2 時計表示スイッチを長押し(約2秒)する



点滅

3 設定スイッチを押して時計をあわせる



例：午前10時15分

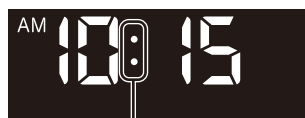
》しくみ

- 一度押すごとに1分ずつ、長押しすると10分ずつ変わります。

！注意

- スイッチ操作をせずに約20秒そのままにすると、設定完了します。

4 時計表示スイッチを押す



点滅

約10秒間 時計表示をしたあと、元の画面に戻ります

【時計あわせ 完了】

時計を表示させる

- 操作したリモコンのみ、時計を表示します。

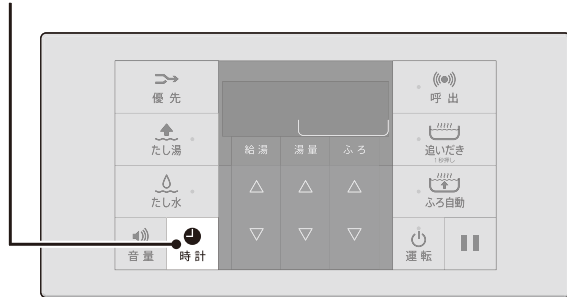
手順

操作できるリモコン **台所** **浴室**

1 【台所リモコンの場合】時計表示スイッチを押す



【浴室リモコンの場合】時計スイッチを押す



》しくみ

- 運転スイッチの「入」「切」に関係なく、表示できます。
- 台所リモコン、浴室リモコンそれぞれで表示させることができます。
- 運転スイッチの「切」時、または給湯温度が60℃のときに押すと、約10秒間時計を表示したあと元の画面に戻ります。
- 時計あわせをしていないと、「-:-」を表示します。

台所リモコンで時計をあわせる／時計を表示させる

■ 時計表示をやめたいとき

時計表示中に、時計表示スイッチまたは時計スイッチを押す

押した方のリモコンのみ、時計表示が消えます。

》しくみ

- 以下の場合にも時計表示は消えます。
 - ・お湯を使う
 - ・他のスイッチ操作をする(呼出スイッチの場合は消えません)
 - ・運転スイッチを「入」または「切」にする
 - ・表示の節電状態になる

お知らせ

- 停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電して時計を表示させると「-:-」になる場合がありますので、時計をあわせ直してください。(P16)

お湯を出す

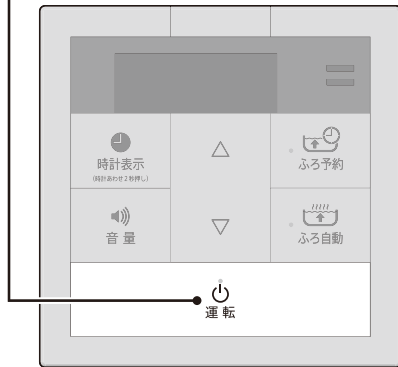
手順

操作できるリモコン **台所** **浴室** / 記載例 **台所**

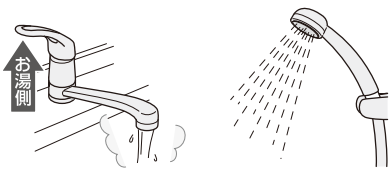
》しくみ

- 運転ランプ、優先表示点灯。

1 運転スイッチを押して「入」にし、給湯温度を確認する

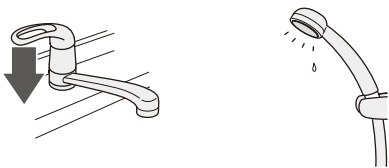


2 給湯栓を開ける または シャワーを出す



■ お湯を止めたいとき

給湯栓を閉める または シャワーを止める



<p>警告</p>	<p>シャワーなどお湯の使用時は、リモコンに表示の温度をよく確かめ、手で湯温を確認してから使用する</p> <p>60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときには特に注意してください。やけど予防のため。</p>
<p>警告</p>	<p>シャワー使用時に使用者以外が、リモコンの温度を変えたり、運転スイッチを「切」にしたり、「優先」を切り替えたりしない</p> <p>高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチを「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。</p>

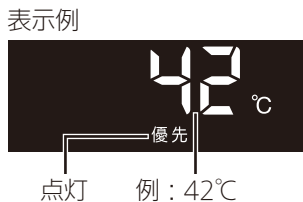
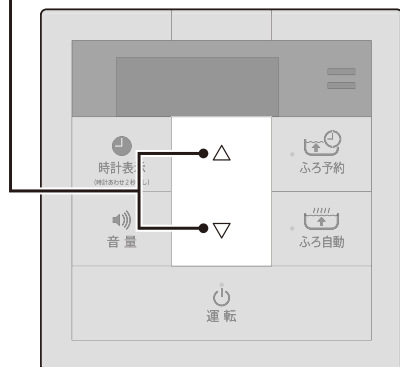
お湯の温度を調節する

手順

操作できるリモコン **台所** **浴室**

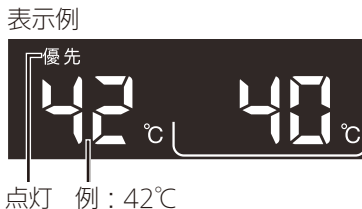
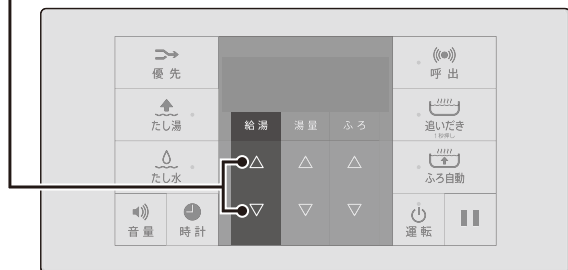
1 【台所リモコンの場合】

- ①優先表示が点灯していることを確認して
- ②設定スイッチを押して調節する



【浴室リモコンの場合】

- ①優先表示が点灯していることを確認して
- ②給湯温度スイッチを押して調節する



お湯の温度の目安

													(°C)			
32	35	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60	台所リモコンの表示例 約10秒間点滅→点灯	
ぬるめ				シャワー、給湯など				給湯など				高温				
食器洗いなど																

- 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。
- 夏季など水温が高いときに、低い給湯温度(ぬるめ、食器洗いなど)に設定した場合、設定された温度より高いお湯が出ることがありますので、必要に応じて水を混ぜ湯温を確認してからお使いください。
- 表示の温度をよく確かめてから使用してください。高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。
- サーモスタット式混合水栓をご使用の場合、水栓によってハンドルの設定よりぬるいお湯が出ることがあります。その場合は、リモコンの給湯温度をハンドルの温度より5°C~10°C高めに設定してください。詳しくは水栓の取扱説明書をご覧ください。

警告



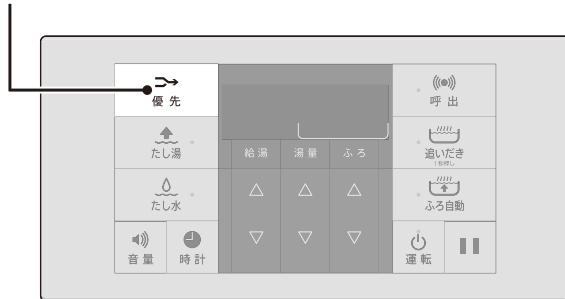
シャワー使用時に使用者以外が、リモコンの温度を変えたり、運転スイッチを「切」にしたり、「優先」を切り替えたりしない

高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチを「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

お湯の温度を調節できないときは <優先切替>

■ 浴室リモコンで温度調節ができないとき

優先スイッチを押す



優先表示が点灯すると、お湯の温度が調節できます

表示例



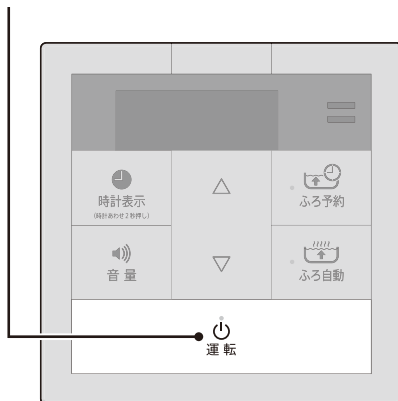
点灯

》しくみ

- 浴室リモコンで記憶していた給湯温度を表示します。
- 再度優先スイッチを押すと、台所リモコンに優先が切り替わります。

■ 台所リモコンで温度調節ができないとき

運転スイッチを押していったん「切」にし、再度「入」にする



優先表示が点灯すると、お湯の温度が調節できます

表示例



点灯

》しくみ

- 台所リモコンで記憶していた給湯温度を表示します。
- 運転が停止します。運転を停止させたくない場合は、浴室リモコンの優先スイッチで切り替えてください。

■ 「優先」とは

台所、洗面所、シャワーなど、機器からお湯を供給しているところには、同じ温度のお湯が出ます。

そのため、お湯を使っているときに他の人が給湯温度を変えてしまうと、出ているお湯の温度が変わり、使っている人がやけどをしたり、急に冷たくなって驚く原因になります。

このような事故などを防ぐために、リモコンが複数ある場合は一つのリモコンでしか給湯温度が変えられないようになっています。

給湯温度を調節できることを「優先」と呼び、給湯温度を調節できるリモコンには、優先表示が点灯します。

■運転スイッチを「入」にしたリモコンが優先になります。

■浴室リモコンの優先スイッチで、リモコンの優先を切り替えることができます。



警告



シャワー使用時に使用者以外が、リモコンの温度を変えたり、運転スイッチを「切」にしたり、「優先」を切り替えたりしない

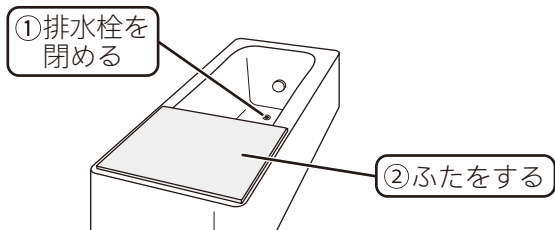
高温に変更されたときのやけど予防のため。また、低温に変更されたり運転スイッチを「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。

* memo *

お湯の温度を調節できないときは〈優先切替〉

お風呂にお湯はりをする <ふろ自動>

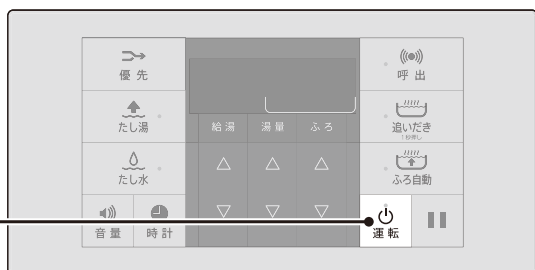
準備



手順

操作できるリモコン **台所** **浴室** / 記載例 **浴室**

1 ① 運転スイッチを押して「入」にし



② ふろ湯量・ふろ温度を確認する



ふろ湯量スイッチを押すと ふろ温度
ふろ湯量が確認できます

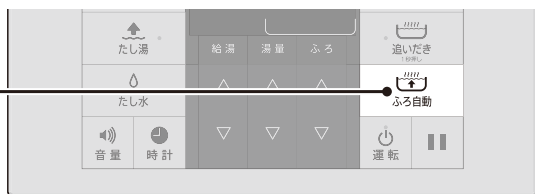
》しくみ

- 運転ランプ、優先表示点灯。
- 台所リモコンではふろ湯量は確認できません。

▶ 参照

- ふろ温度調節 (P24)
- ふろ湯量調節 (P25)

2 ふろ自動スイッチを押して「入」にする



》しくみ

- ふろ自動ランプ点灯 → 約10秒後点滅。
- 台所リモコンで操作した場合、ふろ温度が約10秒間点滅します。

【お湯はり 開始】

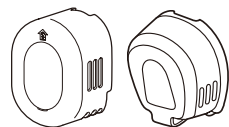
【お湯はり 完了】



<サーミスター付ふろアダプターの場合>

ふろ自動ランプ点灯

※ふろ湯量の設定が80リットル以下の場合、ふろ自動ランプが消灯します。(自動保温はしません)



<サーミスターなし(形状記憶合金式)ふろアダプターの場合>

ふろ自動ランプ消灯

- お湯はり中の追いだき時、「熱いお湯が出ます」とお知らせします。
- 入浴できる状態に近づくと、音声でお知らせします。

》しくみ

- メロディでお知らせします。



【(サーミスター付ふろアダプターの場合のみ)自動保温】

お風呂のお湯の温度が下がると、設定したふろ温度になるまで
熱いお湯をたして保温します

※自動保温中は、ときどき浴槽の湯量を確認してください。
浴槽からお湯があふれることがあります。

》しくみ

- 自動保温開始時、「熱いお湯が出ます」とお知らせします。
 - 燃焼中は炎マーク点灯。
- ▶参照
- 自動保温の時間を変更できます。(P35の番号4)





- 風呂自動をやめたいとき
- お湯はり完了後、自動保温の必要がないとき

風呂自動スイッチを押して「切」にする

》しくみ

- 風呂自動ランプ消灯。

お風呂にお湯はりをすすめるへ風呂自動

 警告		浴槽の湯温を手で確認し、よくかきまぜてから入浴する やけど予防のため。
		ふろアダプターから熱いお湯が出るので注意する ふろアダプター付近は熱いのでさわらないでください。やけど予防のため。 お湯はり完了後も、ふろアダプターから少しの間熱いお湯が出ます。
		お湯はり中・自動保温中は、浴槽の排水栓を絶対に抜かない 水位が下がると、ふろアダプターから出る熱いお湯が直接体に触れる可能性があります。 やけど予防のため。

お知らせ

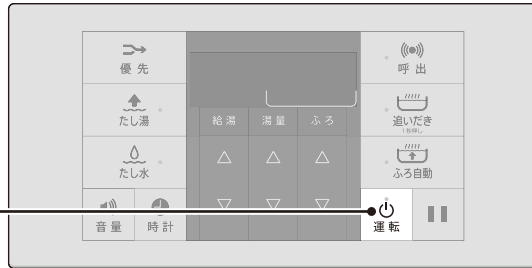
- 風呂自動ランプ点滅中に台所やシャワーでお湯を使うと、風呂自動を中断します。お湯を使い終わると再開します。

風呂温度を調節する

手順

操作できるリモコン **浴室**

1 運転スイッチを押して「入」にする



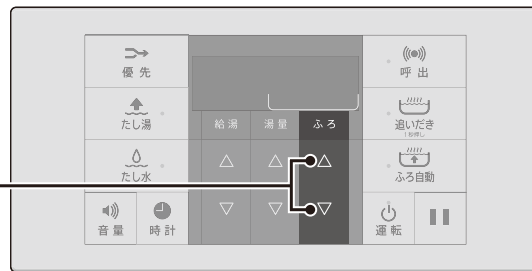
表示例



》しくみ

- 運転ランプ、優先表示点灯。

2 風呂温度スイッチを押して、お好みの温度に調節する



例：42℃

》しくみ

- 変更した温度は記憶します。
- 1回押すごとに1段階ずつ、長押しすると連続で表示が変わります。ただし、46℃以上に上げるときは、1回ずつ押してください

風呂温度の目安

											(°C)
37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ			ふつう				あつめ				

設定する風呂温度は目安です。実際の沸き上がり温度と設定温度は、季節や配管の長さなどの条件により異なります。

ふろ湯量を調節する

手順

操作できるリモコン **浴室**

1 運転スイッチを押して「入」にする



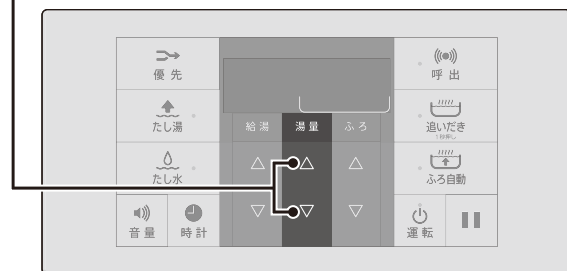
表示例



》しくみ

- 運転ファン、優先表示点灯。

2 ふろ湯量スイッチを押して、お好みの湯量に調節する



ふろ湯量 点灯

設定範囲(リットル)
40~260(20きざみ)、300、350、400

》しくみ

- 操作後約5秒たつと、元の画面に戻ります。
- 変更した湯量は記憶します。

★ヒント

- 設定したふろ湯量どおりにお湯はりしないのはなぜ?(P49「故障・異常かな?」と思ったら)

■ ふろ湯量を確認したいとき




運転スイッチ「入」のときに、
ふろ湯量スイッチの▲または▼を一度押す

》しくみ

- 現在のふろ湯量を表示します。
- 操作後約5秒たつと、元の画面に戻ります。

ぬるいお風呂のお湯を熱くする／残り

- 熱いお湯をたして、お風呂のお湯の温度を上げることができます。
- 残り湯の量が増えます。残り湯の量・温度、浴槽の種類によっては、お湯があふれる場合があります。

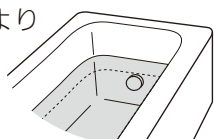
⚠ 警告	 浴槽の湯温を手で確認し、よくかきまぜてから入浴する やけど予防のため。
	 ふろアダプターから熱いお湯が出るので注意する ふろアダプター付近は熱いのでさわらないでください。やけど予防のため。 追いだき完了後も、ふろアダプターから少しの間熱いお湯が出ます。
	 追いだき中は、浴槽の排水栓を絶対に抜かない 水位が下がると、ふろアダプターから出る熱いお湯が直接体に触れる可能性があります。 やけど予防のため。



サーミスター付ふろアダプターの場合

準備

- ① ふろアダプターの上部より5cm以上お湯(水)が入っていることを確認する

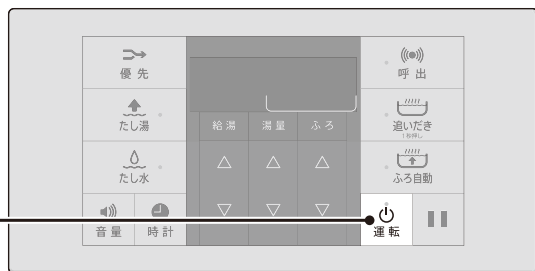


- ② 残り湯の温度が低い場合は、あらかじめ残り湯の量を減らしておく(熱いお湯を多たすため)
※ ふろアダプター上部より5cm以上、お湯(水)は入れておく

手順

操作できるリモコン **浴室**

1 ① 運転スイッチを押して「入」にし

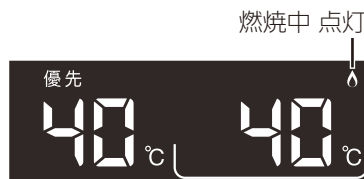


② ふろ温度を確認する



- » **しくみ**
- 運転ランプ、優先表示点灯。
 - ▶ **参照**
 - ふろ温度調節(P24)

2 追いだきスイッチをランプが点灯するまで長押し(約1秒)して「入」にする



- » **しくみ**
- 設定したふろ温度になるまで熱いお湯をたします。

【追いだき 開始】

【追いだき 完了】

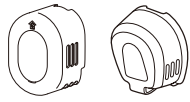
■ 追いだきをやめたいとき

追いだきスイッチを押して「切」にする

- » **しくみ**
- 追いだきランプ消灯。

- » **しくみ**
- 追いだきランプ消灯。

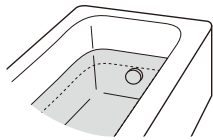
湯をあたため直す <追いだき>



サーミスターなし(形状記憶合金式)ふろアダプターの場合

準備

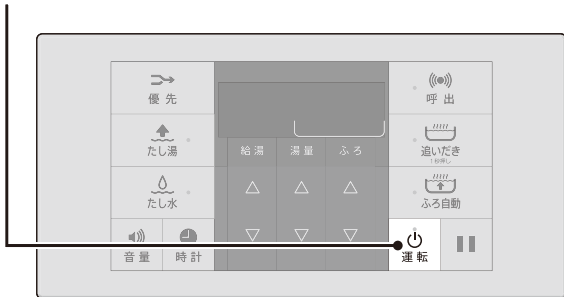
ふろアダプターの上部より5cm以上お湯(水)が入っていることを確認する



手順

操作できるリモコン **浴室**

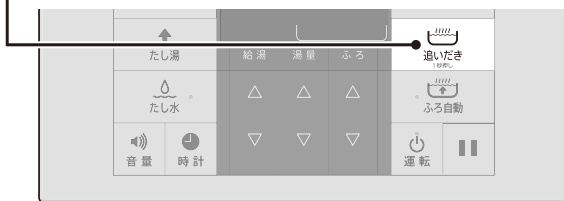
1 運転スイッチを押して「入」にする



》しくみ

- 運転ランプ、優先表示点灯。

2 追いだきスイッチをランプが点灯するまで長押し(約1秒)して「入」にする



たし湯量(20リットル)が約10秒間点滅

燃焼中 点灯



ふろ温度表示が「—」に変わります

【追いだき 開始】

※適温になれば追いだきスイッチを押して「切」にする

【追いだき 完了】

》しくみ

- 熱いお湯を約20リットルたして、お風呂のお湯を熱くします。(設定したふろ温度どおりになりません)
- 残り湯の温度や量によっては、ぬるかったり、熱かったりします。

■ 追いだきのたし湯量を変更したいとき

追いだき中に、ふろ湯量スイッチを押して、お好みの量に調節する



例：40リットル

》しくみ

- 追いだきランプ消灯。
- 「—」がふろ温度表示に戻ります。

》しくみ

- 20,30,40リットルの設定ができます。
- 変更した量は記憶しません。
- 操作後 約10秒たつと元の画面に戻ります。

■ 追いだきをやめたいとき

追いだきスイッチを押して「切」にする

》しくみ

- 追いだきランプ消灯。

サーミスター付・サーミスターなし両方のふろアダプターに関するお知らせ

- 追いだき中に台所やシャワーでお湯を使うと、追いだきを中断します。お湯を使い終わると再開します。
- 追いだきを開始するとき、「熱いお湯が出ます」と声でお知らせします。(リモコンの音量「0(消音)」の設定(P34,36)や音声ガイド「なし」の設定(P35)の場合でもお知らせします)

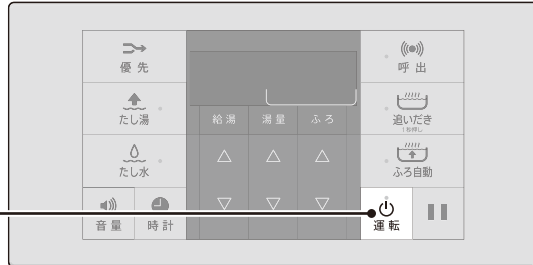
ぬるいお風呂のお湯を熱くする／残り湯をあたため直すへ追いだき

お風呂のお湯を増やす <たし湯>

手順

操作できるリモコン **浴室**

1 運転スイッチを押して「入」にする



表示例



》しくみ

- 運転ランプ、優先表示点灯。

2 たし湯スイッチを押して「入」にする



燃焼中 点灯



》しくみ

- たし湯ランプ点灯。
- 設定したふろ温度のお湯を、約20リットルたし湯します。

【たし湯 開始】



【たし湯 完了】

》しくみ

- たし湯ランプ消灯。

■ たし湯を途中でやめたいとき

たし湯スイッチを押して「切」にする

》しくみ

- たし湯ランプ消灯。

お知らせ

- ふろ自動ランプ点滅中は、たし湯をすることができません。

手順

操作できるリモコン **浴室**

1 運転スイッチを押して「入」にする



表示例

» **しくみ**

- 運転ランプ、優先表示点灯。

2 たし水スイッチを押して「入」にする

» **しくみ**

- たし水ランプ点灯。
- 水が約10リットル入り、その後約3リットルのお湯が入ります。(お湯が入るとき炎マークが点灯します)

【たし水 開始】



【たし水 完了】

» **しくみ**

- たし水ランプ消灯。
- たし水を途中でやめても、約3リットルのお湯が入ります。(お湯が入るとき炎マークが点灯します)

■ たし水を途中でやめたいとき

たし水スイッチを押して「切」にする

» **しくみ**

- たし水ランプ消灯。
- たし水を途中でやめても、約3リットルのお湯が入ります。(お湯が入るとき炎マークが点灯します)

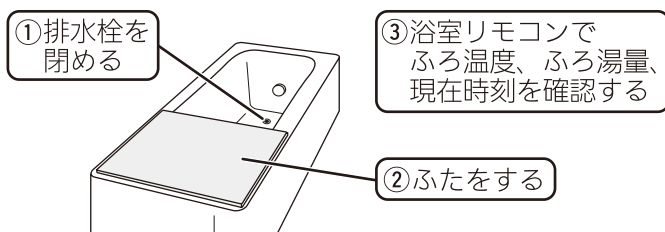
お知らせ

- たし水中に台所やシャワーでお湯を使うと、たし水を中断します。お湯を使い終わると再開します。
- ふろ自動ランプ点滅中は、たし水をするできません。

お湯はりを予約する <ふろ予約>

- お好みの時刻にお湯はりをすることができます。一度予約時刻を設定しておけば、ふろ予約スイッチを押すだけで毎回同じ時刻にお湯はりが完了します。
- 予約時刻(お湯はり完了時刻)の約30分~60分前にお湯はりを開始するため、60分前までには予約してください。

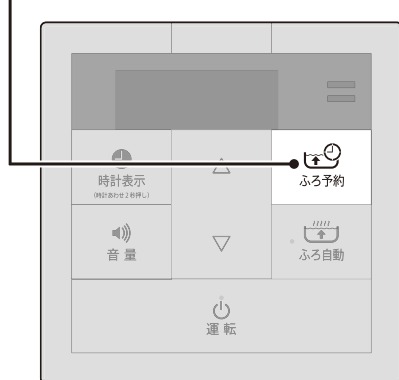
準備



手順

操作できるリモコン **台所**

1 ふろ予約スイッチを押して「入」にする



表示例

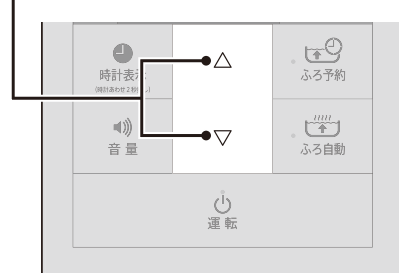


点滅(予約時刻設定なしの場合)
※予約時刻が設定されている場合は、
前回設定した予約時刻が点滅

》しくみ

- 運転スイッチの「入」「切」に関係なく、予約できます。
- ふろ予約ランプ点滅。
- 「ピピピ」と鳴ったり、ふろ予約の設定画面にならないとき
→時計をあわせてください。(P16)

2 設定スイッチを押して、お湯はり完了時刻を設定する

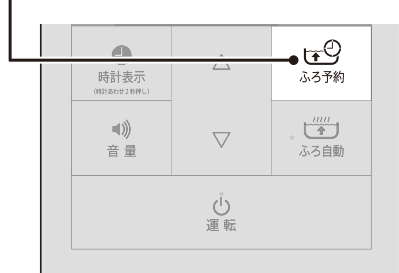


例：午後7時30分

》しくみ

- 一度押すごとに10分ずつ、長押しすると1時間ずつ変わります。
- 設定した予約時刻は記憶します。

3 ふろ予約スイッチを押す



ふろ温度が約10秒間点滅 → 元の画面

》しくみ

- 運転スイッチ「切」時に設定した場合は、ふろ温度は点滅しません。
- ふろ予約ランプ点灯。
- **！注意**
● ふろ予約スイッチを押さなければ予約されません。

【ふろ予約 完了】

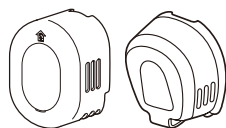
【お湯はり 開始】

予約した時刻にお湯はりが完了するように、
約30分～60分前に開始します

【お湯はり 完了】

＜サーミスター付ふろアダプターの場合＞
ふろ自動ランプ点灯、ふろ予約ランプ消灯

※ふろ湯量の設定が80リットル以下の場合、ふろ自動ランプが消灯
します。(自動保温はしません)



＜サーミスターなし(形状記憶合金式)ふろアダプターの場合＞
ふろ自動ランプ消灯、ふろ予約ランプ消灯

【(サーミスター付ふろアダプターの場合のみ)自動保温】**》しくみ**

- ふろ自動ランプ点滅。
- お湯はりの追いだき時、「熱いお湯が出ます」とお知らせします。
- 燃焼中は炎マーク点灯。
- ふろ予約の場合は、入浴できる状態に近づいても音声でのお知らせはしません。

》しくみ

- メロディでお知らせします。

》しくみ

- 自動保温開始時、「熱いお湯が出ます」とお知らせします。
- 燃焼中は炎マーク点灯。

▶参照

- 自動保温の時間を変更できます。(P35の番号4)

■ お湯はりが始まる前に、予約をやめたいとき

ふろ予約スイッチを押して、予約を解除する

》しくみ

- ふろ予約ランプ消灯。

■ お湯はりが始まったあとで、お湯はりをやめたいとき

ふろ自動スイッチを押して「切」にする

》しくみ

- ふろ自動ランプ消灯。
- ふろ予約ランプ消灯。
- ふろ予約スイッチでも「切」にすることができます。

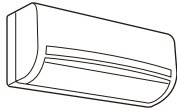
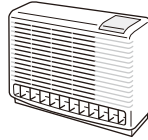
お知らせ

- ふろ予約中にふろ自動スイッチを押すと、ふろ予約を解除します。
- お湯はりが始まったあとでお湯を使ったときは、お湯はり完了時刻が遅くなる場合があります。

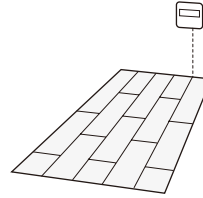
暖房する

暖房放熱器の運転スイッチを「入(切)」にすれば、暖房を開始(停止)します

浴室暖房乾燥機

ファンコンベクター
ルームヒーター

床暖房



手順

台所リモコンや浴室リモコンでの操作は不要です

- 1 ①暖房する部屋の暖房放熱器の運転スイッチを「入」にする
- ②必要に応じて、暖房放熱器の温度などを調節する

台所リモコンの表示例
(運転スイッチ「入」時)

燃烧中 点灯

台所リモコンの表示例
(運転スイッチ「切」時 または 表示の節電中)

燃烧中 点灯

》しくみ

- リモコンの運転スイッチの「入」「切」に関係なく、暖房できます。
- パネルヒーターが併設されている場合は、パネルヒーターのバルブを開けておくと同時に暖房します。

★ヒント

- 暖房放熱器の調節方法などについては、暖房放熱器側の取扱説明書に従ってください。

■ 暖房をやめたいとき

暖房放熱器の運転スイッチを「切」にする

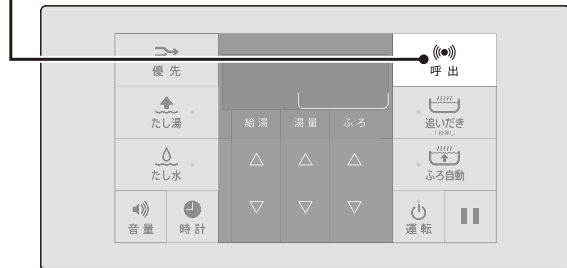
浴室から台所を呼び出す <呼出>

- インターホンではないので会話はできません。

手順

操作できるリモコン **浴室**

1 呼出スイッチを押す



》しくみ

- 運転スイッチの「入」「切」に関係なく、呼び出しできます。
- 呼出ランプ点灯→消灯。
- 呼び出し音が鳴ります。
- 押し続けると、手を離すまで呼び出し音をくりかえします。

お知らせ

- リモコンの音量「0」の設定(P34,35)でも、呼び出し音は鳴ります。

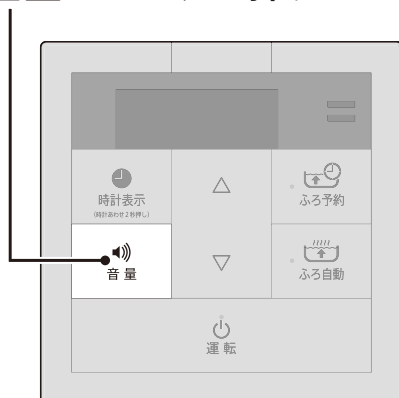
リモコンの音量を変更する

- リモコンの以下の音量が変わります。
 - ・ スイッチを押したときに鳴る音(操作音)
 - ・ 声によるお知らせ(音声ガイド)
 - ・ 呼び出し音
 - ・ メロディ

手順

操作できるリモコン **台所** **浴室** / 記載例 **台所**

1 音量スイッチを押す



表示例



》しくみ

- 運転スイッチの「入」「切」に関係なく、設定できます。

2 音量スイッチを押して、音量を変更する



設定範囲
0(消音)、1(小)、2(中)、3(大)

【音量変更 完了】

》しくみ

- 変更したリモコンのみ、音量が変わります。
- 「0」に設定しても、呼び出し音(P33)は鳴ります。
- 操作後約5秒たつと、元の画面に戻ります。

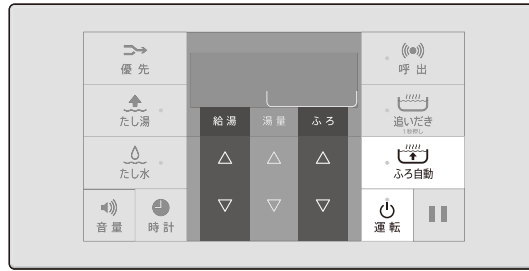
- 「声によるお知らせ(音声ガイド)」のみ消したいとき → P35の番号1

使い勝手にあわせて設定を変更する

台所リモコン



浴室リモコン



★：初期設定

<p>1まず 変更したい 内容の 番号を確認</p>	<p>2 運転「切」 → ふろ自動 ピッと鳴るまで 押す(約2秒間)</p>	<p>3 【台所リモコン】 設定スイッチを押して 変更したい番号を 選ぶ</p> <p>△ ▽</p> <p>【浴室リモコン】 給湯 △ ▽ 給湯温度スイッチを 押して、変更したい 番号を選ぶ</p>	<p>4 【台所リモコン】 ふろ自動 を押す → △ ▽ 設定スイッチを 押して、内容を 選ぶ</p> <p>【浴室リモコン】 ふろ △ ▽ ふろ温度スイッチを押して 内容を選ぶ</p>	<p>5 運転「入」 または 約30秒放置</p>
---	---	---	--	--

<p>声によるお知らせ(音声ガイド)を消したい</p>	<p>1</p>	<p>台所 浴室 それぞれ</p>	<p>【台所リモコン】 1</p>	<p>【台所リモコン】 on of</p>	<p>on：あり★ of：なし</p>
<p>表示の節電をやめたい 時計表示のしかたを 変更したい</p>	<p>2</p>	<p>台所 浴室 それぞれ</p>	<p>【台所リモコン】 2</p>	<p>【台所リモコン】 1 2</p>	<p>1：表示の節電をする★ 2：表示の節電をしない(時計表示する*)</p> <p>※運転スイッチ「入」時に時計表示している場合は、運転スイッチ「切」にすると時計表示は消えます。</p>
<p>【サーミスター付ふろアダプターの場合】 自動保温の時間を 変更したい</p>	<p>4</p>	<p>台所 または 浴室</p>	<p>【台所リモコン】 4</p>	<p>【台所リモコン】 0 5 9</p>	<p>0：お湯はり完了後、自動保温をしません 1~9：1~9時間 (★：4)</p> <p>※サーミスターなし(形状記憶合金式)ふろアダプターの場合(P22)、自動保温ができないため、この設定変更には対応できません。</p>

リモコンの音量を変更する

使い勝手にあわせて設定を変更する

(つづく)

使い勝手にあわせて設定を変更する(つづき)

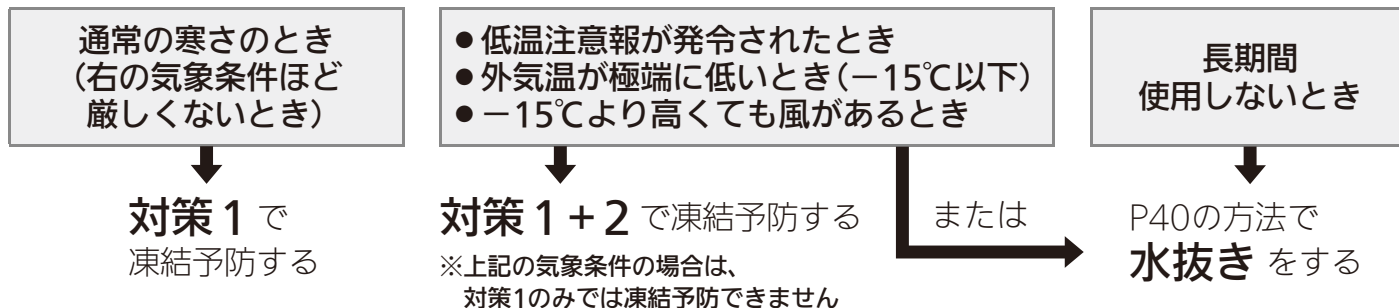
(つづき)

★：初期設定

1 1 まず 変更したい 内容の 番号を確認	2 電源 「切」 → ふろ自動 ビッと鳴るまで 押す(約2秒間)	3 【台所リモコン】 △ 設定スイッチを押して 変更したい番号を 選ぶ ▽ 【浴室リモコン】 給湯 △ 給湯温度スイッチを 押して、変更したい 番号を選ぶ ▽	4 【台所リモコン】 ふろ自動 → △ 設定スイッチを を押す → 押して、内容を 選ぶ ▽ 【浴室リモコン】 ふろ △ ふろ温度スイッチを押して 内容を選ぶ ▽	5 電源 「入」 または 約30秒放置	
リモコンの音量を 変えたい	8	台所 浴室 それぞれ	【台所リモコン】 8 【浴室リモコン】 8 2 ↑	【台所リモコン】 0 3 【浴室リモコン】 8 0 3	0：消音 1：小 2：中★ 3：大
機器の水抜きをする	18	台所 または 浴室	【台所リモコン】 18 【浴室リモコン】 18 of ↑	【台所リモコン】 of ふろ自動 △ を押す 【浴室リモコン】 18 of ふろ △ を押す	表示がonになり、すぐに機器の水抜き開始 ※機器の水抜き中にofを選択すると機 器の水抜きを中止します。
暖房時の音が気になる <静音>	22	台所	22	on of	on：暖房開始時の暖房能力を下げ、運 転音を下げる(冷え込みが厳しい ときは、あたたまりにくいことが あります) of：通常運転★

凍結による破損を予防する

<p>お願い</p>	<p>凍結による破損を予防する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必要な対策をしてください。 ● 凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。
-------------------	---------------------	---

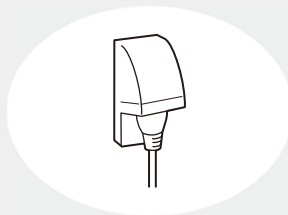


対策1

凍結予防ヒーターにより、自動的に凍結予防
(運転スイッチ「入」「切」に関係なく、自動的に凍結予防します)

電源プラグを抜かない

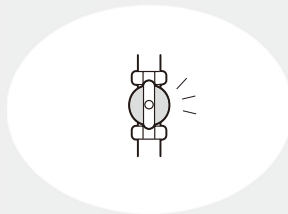
電源プラグを入れておくと、凍結予防ヒーターで機器内の凍結予防をします



- 給水・給湯配管や、給水元栓およびふろ配管などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒーターを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。
(わからないときは、販売店に確認してください)

ガス栓を閉めない

暖房運転して暖房回路の水をあたため、暖房回路の凍結予防をします



- 暖房放熱器の種類によっては、暖房回路の凍結予防ができない場合があります。
- このときリモコンに炎マークが点灯します。
(ポンプの運転音(ウーン)がします)

使い勝手にあわせて設定を変更する

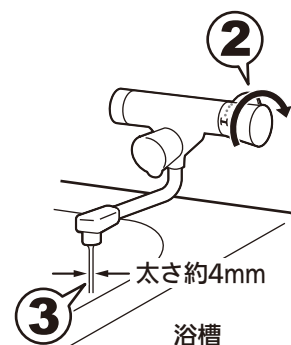
凍結による破損を予防する

凍結による破損を予防する(つづき)

(つづき)

対策2 通水による凍結予防

- 1 リモコンの運転スイッチを押して「切」にする
- 2 サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合は、最高温度側にする
- 3 おふろの給湯栓を開き、少量の水を流したままにする
少量の水とは・・・1分間に約400ミリリットル、太さ約4mm
- 4 約30分後、流れる量を確認する
流量が不安定になっている場合があります



- 機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。
- サーモスタット式混合水栓やシングルレバー式混合水栓の場合、再使用時の温度設定にご注意ください。やけど予防のため。
- この処置をしても凍結するおそれのある場合には、P40の方法で水抜きをおこなってください。
- 結露現象予防として、運転スイッチ「切」の状態です給湯栓から水を出さないようにお願いしていますが(P8)、凍結予防の処置の場合は問題ありません。

凍結してお湯(水)が出ないとき

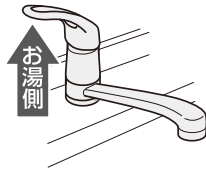
● リモコンの運転スイッチを押して「切」にする

- 「入」にしていると燃焼する場合があります。
- 気温の上昇により自然に解凍するまで待つことをおすすめします。

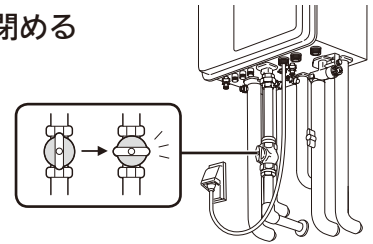
● すぐにお湯を使いたい場合は、以下の方法をお試しください

1 リモコンの
運転スイッチを
押して「切」に
する

2 台所などの給湯栓を
少し開けておく

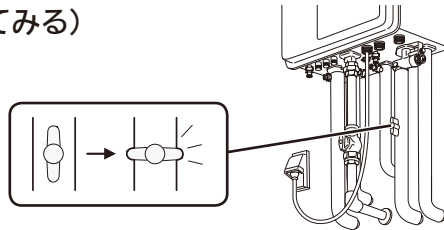


3 ガス栓を閉める



(例：135-H730型)

4 給水元栓をまわしてみる(閉めてみる)



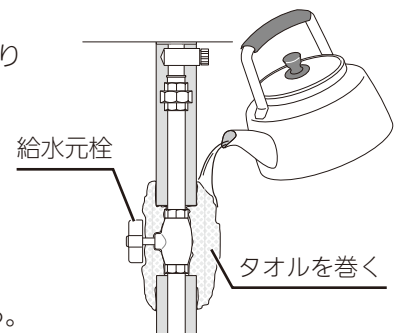
給水元栓が凍結して回らない場合

- ① タオルを給水元栓のまわりに巻く。
- ② 人肌程度(30℃～40℃)のぬるま湯を給水元栓に巻いたタオルにゆっくりかける。(必要に応じて、床面などがぬれないように処置をする)

注意

- 熱湯をかけると配管が破裂するおそれがあります。
- 機器の電源プラグ、コード、電源コンセントにお湯がかからないように注意してください。
- ガス栓とまちがえないように注意してください。

- ③ 給水元栓が回る(水が流れる音がする)ようになったら、給湯栓を閉める。
- ④ タオルを外し、給水元栓のまわりについた水を乾いた布でふき取る。
- ⑤ 今後凍結しにくいようにするため、給水元栓まわりに保温材をかぶせるなどの処置をする。(わからないときは、販売店に確認してください)



給水元栓が回るのに水が出ない場合

給水元栓を必ず閉め、気温の上昇により自然に解凍するのを待つか、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。

お知らせ

- 凍結した場合は、そのままでは絶対に使用しないでください。(暖房運転もしないでください) 機器の故障の原因となります。
- 給湯栓から水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認のうえ使用してください。
- 上記の手順3でガス栓を閉めていても、ポンプの循環で暖房回路の凍結予防は保たれます。(暖房放熱器の種類によっては、暖房回路の凍結予防ができない場合があります)

長期間使用しないとき(水抜きのみ)

 注意	<p>! 機器の水抜きをする場合、暖房放熱器を停止し、リモコンの運転スイッチを「切」にし、機器が冷えてからおこなう やけど予防のため。機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。</p>
---	--

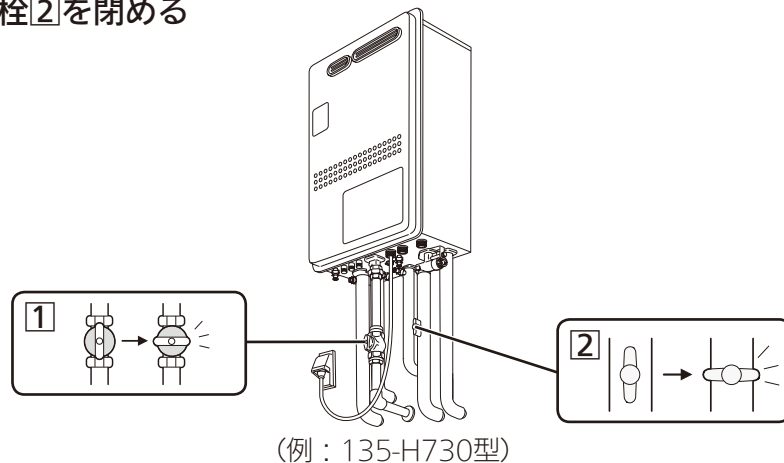
※P42のイラストを参考にしてください。

準備

水抜き栓などからお湯(水)が約4リットル出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

手順

1 ガス栓①と給水元栓②を閉める



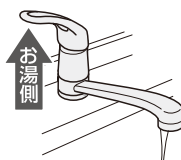
2 浴槽内の水を完全に排水する

3 浴室リモコンで、機器の水抜きの操作をする

- ① リモコンの運転スイッチを押して「切」にする
- ② ふろ自動スイッチをピッと鳴るまで押す(約2秒間)
- ③ 給湯温度スイッチを押して「18」にする
- ④ ふろ温度スイッチの△を押して「on」にする
- ⑤ 浴槽のふろアダプターから排水することを確認する

- !** **注意**
- このあと、浴槽に水を流し込まないでください。
 - 水抜きの途中で電源プラグを抜かないでください。
- ★** **ヒント**
- 水抜きを中止する場合は、リモコンの運転スイッチを「入」にしてください。

4 家中のすべての給湯栓を全開にする



- 5** ①【屋外設置形の場合】水抜き栓(フィルター付き)③を左に回して外す
【屋内設置形の場合】水抜き栓(フィルター付き)③のA部を左に回して開ける
- ② 過圧防止安全装置(水抜き栓)④を左に回して外す
- ③ 水抜き栓⑤を左に回して外す

» **しくみ**

- 水抜き栓から勢いよく水が飛び散る可能性があります。

- 6** 機器正面の下部にあるラベルで、不凍液が入っているかどうか確認する
- 「不凍液が入っています」のラベルがある場合→手順7へ進む
 - 「不凍液が入っています」のラベルがない(不凍液が入っていない)場合→水抜き栓⑥⑦⑧を左に回して開けてから、手順7へ進む
(この場合、暖房放熱器や暖房配管の凍結予防はできません)

★ **ヒント**

- 寒冷地では不凍液のご使用をおすすめします。

- 7** 手順3の⑤の操作から10分以上経過後(リモコンで「ピピッ」とお知らせ音が鳴ったあと)、水抜き栓⑨⑩を左に回して開け、約3分そのままにする

» **しくみ**

- 排水します。

- 8** 機器の電源プラグを抜く
ぬれた手でさわらない



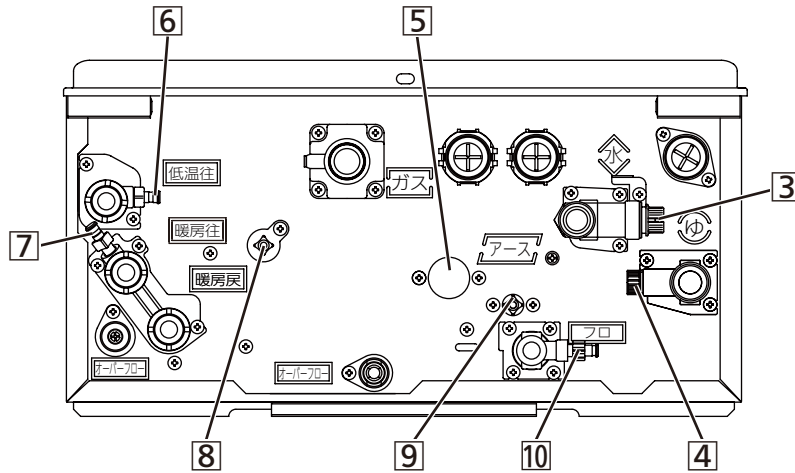
- 9** 完全に排水したことを確認したあと、すべての水抜き栓・過圧防止安全装置(水抜き栓)・家中のすべての給湯栓を閉める
確実に閉まっていることを確認する

長期間使用しないとき(水抜きのみ)のしかた(つづき)

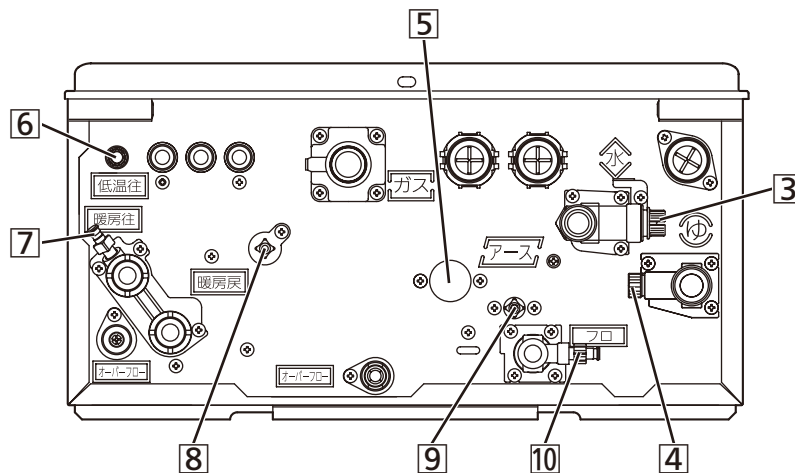
(つづき)

各水抜き栓は、保温材などで見えにくいことがあります。

【135-H730型シリーズ・135-H750型シリーズ・535-H738型・535-H758型の場合】



【135-H740型シリーズ・135-H760型シリーズ・535-H748型・535-H768型の場合】



水抜き栓(フィルター付き)③

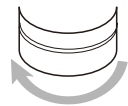
【屋外設置形の場合】



【屋内設置形の場合】



水抜き栓 ⑤



過圧防止安全装置(水抜き栓)④



水抜き栓 ⑥~⑩



水抜き後の再使用のとき


- ①すべての水抜き栓・過圧防止安全装置(水抜き栓)・家中のすべての給湯栓が確実に閉まっていることを確認する。
- ②給水元栓を開ける。
- ③家中のすべての給湯栓を開け、水が出ることを確認してから閉め、機器や配管から水漏れがないかよく確認する。
- ④ガス栓を開け、電源プラグを電源コンセントに差し込む。ぬれた手でさわらない

※通水後初めての暖房使用で、リモコンに表示「543」「173」が出る場合

暖房放熱器側の運転とリモコンの運転スイッチをいったん「切」にし、機器の給水元栓が開いていること・水抜き栓⑥⑦⑧が閉まっていることを確認し、電源プラグを抜き、再度電源プラグを差し込んで再使用してください。

日常の点検・お手入れのしかた

- 点検・お手入れは定期的におこなってください。
- 点検・お手入れの際は、手袋などを着用してケガなどをしないように充分注意してください。

 注意	<p>! 機器の点検・お手入れをする場合、暖房放熱器を停止し、リモコンの運転スイッチを「切」にし、機器が冷えてからおこなう</p> <p>やけど予防のため。機器の使用直後は、機器内のお湯が高温になっています。</p>
--	---

点検

排気口・給排気筒トップにススがついていないか？

→**Ⓐ**

ついている場合：★

点検

【排気方向を上方へ変更するカバーを取り付けている場合】

カバーに雪が積もっていないか？ →**Ⓐ**

積もっている場合は、除雪する。

点検

排気口・給気口・給排気筒トップがホコリなどでふさがっていないか？ →**Ⓐ** **Ⓑ**

ふさがっている場合は、掃除する。

点検

機器外装に異常な変色はないか？ →**Ⓒ**

現象があった場合：★

点検

●運転中に機器から異常音が聞こえないか？ →**Ⓒ**

●機器・配管から水漏れはないか？ →**Ⓓ**

現象があった場合：

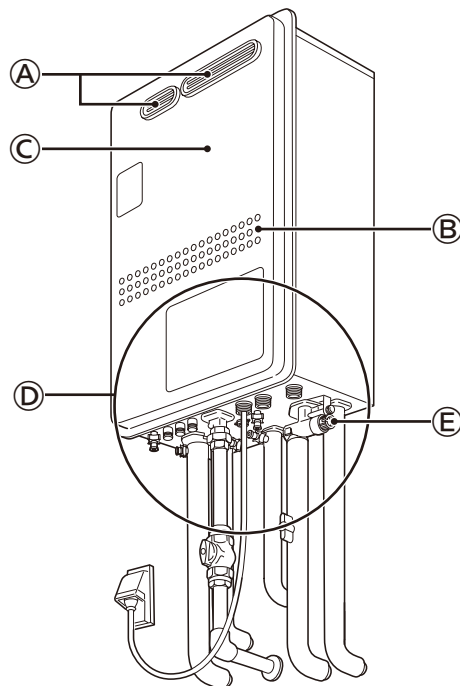
「故障・異常かな？と思ったら」のP51を確認する。それでもなおおかしいときは、販売店または、もよりの大阪ガスへ連絡する。

点検

機器外装の下部周辺などにサビや穴開きはないか？ →**Ⓓ**

現象があった場合：★

※海に近く潮風が当たりやすい地域の場合、潮風によって、機器本体および配管接続部にサビが発生する場合があります。サビがひどい場合は、機器本体内部への影響も考えられますので、点検(有料)をおすすめします。



(例：135-H730型)

★の処置

販売店または、もよりの大阪ガスへ連絡する。

点検

機器や排気口・給排気筒トップのまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすいものを置いていないか？

燃えやすいものを置かない。

点検

排気筒トップや排気筒が外れたり、穴があいたり、詰まったりしていないか？

現象があった場合：★

お手入れ 外装の汚れ →**Ⓒ**

ぬれた布で落としたあと充分水気をふき取ってください。特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。

日常の点検・お手入れのしかた(つづき)

(つづき)

お手入れ リモコン

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布で軽くふいてください。

お手入れ ふろアダプター(月に1度くらい)

- ふろアダプターの表面の汚れは湿った布でふき、表面に付着した髪の毛・ゴミなどは、こまめに取り除いてください。
- ふろアダプターは、外したり、分解したりしないでください。
(内部の汚れが気になるときは、アフターサービス(有料)をお申し付けください)

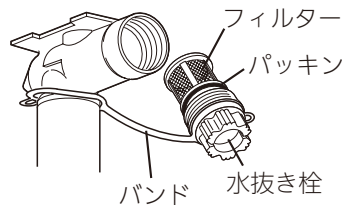
お手入れ 水抜き栓のフィルター →⑥

水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まると、お湯の出が悪くなったりお湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

- ①水抜き栓から出る水(お湯)を受ける容器を準備する。
- ②機器の給水元栓(P11)を閉める。
- ③台所・洗面所など、家中のすべての給湯栓を開ける。

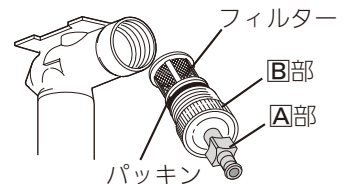
【屋外設置形の場合】

- ④水抜き栓を左に回して外す。※1 ※2
- ⑤配管とつながっているバンドから外す。
- ⑥フィルター部分をブラシなどで水洗いする。※3
- ⑦元どおりに水抜き栓を取り付ける。



【屋内設置形の場合】

- ④A部を左に回して開ける。※1
- ⑤水が完全に抜けたら、B部を左に回して外す。※1
- ⑥フィルター部分をブラシなどで水洗いする。※3
- ⑦元どおりにB部を取り付け、A部を閉める。



- ⑧すべての給湯栓を閉める。
- ⑨給水元栓を開け、水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する。

※1 このとき水(お湯)が出るので注意してください。

※2 水抜き栓が固くて回らない場合は、コインなどを水抜き栓の切り欠きに差し込んで、回してみてください。

※3 水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルターの間のパッキンをなくさないように注意してください。

不凍液の点検と交換(有料)

- 1年に1回は、不凍液の濃度や汚れなどの点検を、販売店または、もよりの大阪ガスへ依頼してください。
- 不凍液の性能が低下していた場合は交換が必要です。交換の目安は2年に1回です。
- ※不凍液の性能が低下したまま使い続けると、凍結・破損・腐食の原因になります。

定期点検のおすすめ(有料)

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては、日本水道協会発行の給水用具の維持管理指針に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は4~6年に1回程度をおすすめします。点検は販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

法定点検について【屋内設置形の場合】

お買い上げいただいた製品は、消費生活用製品安全法(消安法)の長期使用製品安全点検制度で指定された特定保守製品です。

● 特定保守製品とは

「消費生活用製品のうち、長期間の使用に伴い生ずる劣化(経年劣化)により安全上支障が生じ、一般消費者の生命又は身体に対して特に重大な危害を及ぼすおそれが多いと認められる製品であって、使用状況等からみてその適切な保守を促進することが適当なもの(消安法第2条第4項)」として指定された製品です。

● 法定の点検期間になったら点検を受けてください

- 特定保守製品は、経年劣化による重大事故を防止するために、設計標準使用期間に基づいて製品ごとに設定された点検期間中に点検を受けることが、製品の所有者の責務として求められています(消安法第32条の14)。本製品に表示している点検期間になりましたら、必ず点検を受けてください。(点検は有料です)
- なお、法定点検の後もご使用を継続する場合には、こまめに点検を受けることが本製品を安全にお使いいただくために必要となりますので、ご注意ください。
- 法定点検は、その時点で点検基準に適合しているかどうかの確認であって、その後の安全を担保するものではありません。

● 法定の所有者登録をしてください

- 特定保守製品の所有者は、この製品の製造(輸入)事業者が法定の所有者登録をすることが求められています(消安法第32条の8第1項)。製品に同梱している「所有者票」に記載している《所有者情報の登録方法》に従って、ご登録をお願いします。
- ご登録いただいた所有者情報は、消安法、個人情報保護法および当社規定により適切な安全対策のもとに管理し、法定点検やリコール等の製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

● 登録していただいた所有者情報に変更がありましたらご連絡ください

- 所有者情報に変更があった場合、この製品の製造(輸入)事業者に変更の連絡をすることが求められています(消安法第32条の8第2項)。引っ越しなどで所有者情報に変更がありましたら、速やかに「所有者票」に記載している《所有者情報の登録方法》に掲げる点検連絡先にご連絡ください。ご連絡いただかない場合、法定点検やリコール等の製品安全に関するお知らせが正しく届かないことがあります。

● 法定の点検通知をいたします

- 法定の所有者登録をしていただいた方に、登録情報に基づいて点検期間の開始前に法定の点検通知をいたします(消安法第32条の12)。
- 点検期間については、製品本体の表示、もしくは製品に同梱している「所有者票(お客さま控え)」をご覧ください。

【本製品の設計標準使用期間について】

本製品は、設計標準使用期間※を10年と算定しており、適切な点検をすることなく、この期間を超えて使用すると、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

※ 設計標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理がおこなわれた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間で、製品ごとに設定されるものです(消安法第32条の3)。

「保証期間」とは異なるのでご注意ください。(保証期間は保証書を参照願います)

<設計上の標準使用期間の算定の根拠>

本製品の設計上の標準使用期間は、次のように設定しています。

- 1) 始期…製造年月
- 2) 終期…JIS S 2071・JIS S 2072の「標準使用条件」に基づいて想定した以下の使用条件にて、当社において耐久試験等を行い、その結果算出された数値等に基づいて、「経年劣化により安全上支障が生ずるおそれが著しく少ないこと」を確認した時期

法定点検について【屋内設置形の場合】(つづき)

(つづき)

■使用条件(給湯)

項目	条件
家族構成	4人世帯
用途	台所・洗面・シャワー・湯はり
季節	中間期(春・秋)
気温・湿度	20℃・65%
給水温度	15℃
出湯温度	40℃
1日使用量	456リットル
1日使用時間	1時間
1年使用日数	365日

■使用条件(温水暖房・乾燥・ミストサウナ)

項目	条件	
家族構成	4人世帯	
用途	床暖房・脱衣室洗面室暖房・浴室暖房	浴室乾燥・浴室衣類乾燥・ミストサウナ
使用期間	冬期：116日(11月17日～3月12日)	365日(1日/週)
温水温度	60℃・80℃	
熱源機運転時間	年間1036時間	
熱源機燃焼時間	年間775時間	

※「使用条件」は、弊社における代表的な製品の条件を記載しています。製品によっては使用条件が異なります。

<ご注意ください>

使用頻度・使用環境・設置場所が標準的な使用条件と異なる場合、または、業務用等本来の目的以外の方法で使用された場合は、本体に記載の設計上の標準使用期間よりも短い期間で経年劣化が起きる可能性があります。これに該当するような場合は、下記「本製品の点検等に関するお問い合わせ先」にご連絡ください。

● 法定点検について

法定点検は、大阪ガスまたは大阪ガスが委託した事業者が行います。

【法定点検の内容について】

- 特定保守製品について、点検期間中に点検基準に従って実施する有料の法定点検です。
- 点検基準は消安法省令に定められており、製品区分ごとに点検項目・点検内容が定められています。
- 点検の結果は、点検結果表にてお知らせします。
- 点検の結果、不適合となった場合には可能な限りの選択肢をお知らせします。この場合、整備(修理を含む)をおこなって使用を継続するかどうかはお客さまの判断となります。

【法定点検の料金について】

点検料金は、お客さまにご負担いただきます。また、点検の結果、整備が必要となった場合は、別途整備費用(有料)が発生いたします。点検料金は技術料、出張料などを合計した金額となります。

なお、点検料金の設定の基準等や、点検要請に対して速やかに対応できるように配置しておりますサポート拠点については、下記のアドレスからご覧いただけます。

<http://www.osakagas.co.jp/>

インターネットでご確認できない場合は、右記「本製品の点検等に関するお問い合わせ先」にご連絡ください。

本製品の点検等に関するお問い合わせ先

大阪ガスお客さまセンター

Telフリーダイヤル **0120-0-94817**

【受付時間】(月～土)：9：00～19：00

(日・祝)：9：00～17：00

【本製品の点検の結果必要となると見込まれる整備用部品の保有期間】

整備用部品とは、法定点検の結果、不備が認められた場合に、安全性を確保(回復)させるために必要な部品であり、補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)とは異なります。

- (1) 点火・消火装置に関する部品：製造打切後11年
点火プラグ・イグナイター
- (2) 水・湯・ガス通路に関する部品：製造打切後11年
サーミスター・パッキン・Oリング
- (3) 安全装置に関する部品：製造打切後11年
COセンサー・ハイリミットスイッチ・温度ヒューズ・フレイムロッド

※補修用性能部品の保有期間は保証書をご覧ください。

【本製品の日常的におこなうべき点検・お手入れ】

製品を安全にご使用いただくために、月1回程度は、お客さまで日常的に点検やお手入れを行ってください。

<点検・お手入れ前のご注意>

- 運転スイッチ「切」にするか、電源プラグを抜いて行ってください。
- 製品の使用後は、製品や製品内のお湯が高温になっていますので、やけど予防のため製品が冷えてから点検・お手入れを行ってください。

<点検・お手入れの内容>

- 取扱説明書の、日常の点検・お手入れに関する項目および安全上の注意に関する項目をご覧ください。
- 次のような症状があれば経年劣化の兆候と考えられますので、上記お問い合わせ先にご連絡ください。
 - 運転中に機器から異常音が聞こえる
 - 機器外観に異常な変色や傷がある
 - 機器・配管から水漏れがある
 - 排気筒トップにススがついている

「あんしん点検」のおすすめ【屋外設置形の場合】

本製品は、ご使用開始から10年前後をめぐりに「あんしん点検」(有料・任意点検)をお受けいただくことをおすすめいたします。

● あんしん点検について

【点検の内容について】

- あんしん点検は、お客さまの任意で受けていただく有料の点検です。(法定点検ではありません)
- あんしん点検は、点検時点での製品の安全を確認するためのもので、製品の延命や性能の保証を延長するものではありません。
- 点検の実施は、大阪ガスまたは大阪ガスが委託した事業者が行います。
- 点検の内容および点検基準は、「経済産業省関係特定保守製品に関する省令」に定められた法定点検の内容、基準を参考に、当社で設定しています。
(例：製品の設置状況の確認、作動確認、内部の漏れ、詰まり、変色、性能確認など)
- 点検の結果は、「点検作業票」にてお知らせします。点検の結果、何らかの整備(修理・部品の交換等)が必要な場合には、整備内容についてご提案させていただき、お客さまにご了解をいただいた上で行います。

【点検料金および点検の依頼先について】

- 点検は有料で実施させていただきます。また点検の結果、整備を実施する場合は、別途整備費が発生いたします。なお、あんしん点検の内容や料金などにつきましては、下記のアドレスからご覧いただけます。
<http://www.osakagas.co.jp/>
インターネットでご確認できない場合は、別紙記載の「大阪ガスのお問い合わせ先」にご連絡ください。

【点検を依頼される時】

- 点検のお申し込みは販売店または、もよりの大阪ガスへご依頼ください。

● 点検の時期について

本製品は、設計上の標準使用期間[※]を10年と算定しておりますので、ご使用開始から10年前後をめぐりに「あんしん点検」をお受けいただくことをおすすめいたします。

※設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間になります。「無料修理保証期間」とは異なりますのでご注意ください(無料修理保証期間は保証書を参照願います)。

故障・異常かな？と思ったら

お湯・シャワー		
こんなときは	こんなことが考えられます	処置
給湯栓を開いてもお湯が出てこないお湯にならない	ガス栓・給水元栓が全開になっていない。	ガス栓・給水元栓を全開に。
	断水している。	復旧を待つ。
	給湯栓が充分開いていない。	給湯栓を充分に開ける。
	ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断している。	もよりの大阪ガスに連絡を。
	LPガスの場合、ガスがなくなっている。	他のガス器具が使用できるか確認→使用できなければガス事業者(供給業者)に連絡を。
	水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まっている。	P43
	凍結している。	P39
	リモコンの運転スイッチが「切」になっている。	運転スイッチを「入」に。
	夏場などの水温が高いときに、低温のお湯を少量出そうとすると、お湯になりません。	給湯温度を上げるか、給湯栓をもっと開いて使用する。
	混合水栓をご使用の場合、水が回り込んでお湯がぬるくなることがあります。	異常ではありません。
お湯が出てくるまで時間がかかる	機器から給湯栓まで距離があるためです。	異常ではありません。
低温のお湯が出ない	給水元栓が全開になっていない。	給水元栓を全開に。
	給湯温度の設定が合っていない。	給湯温度を適温に設定にする。(P19)
	夏場などの水温が高いときに低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。このような場合、安全のため機器が燃焼を停止することがあります。	給湯栓をもっと開いて使用する。
	少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。このような場合、安全のため機器が燃焼を停止することがあります。	もう少し給湯栓を開いて使用する。
高温のお湯が出ない	ガス栓が全開になっていない。	ガス栓を全開に。
	給湯温度の設定が合っていない。	給湯温度を適温に設定にする。(P19)
	お湯はり・たし湯中にお湯を使うと、ふろ温度のお湯が出ます。お湯はり・たし湯が終わっても、お湯の使用をいったんやめるまでは、高温のお湯は出ません。(給湯温度設定が高温のときのやけど予防のため) ※リモコンの表示はそのままです。 <例：給湯温度の設定60℃→お湯の温度40℃>	異常ではありません。
給湯栓を絞ると水になった	給湯栓から流れるお湯の量が1分間に約3.5リットル以下になったとき消火します。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。	異常ではありません。
給湯温度の調節ができない	操作しているリモコンが優先になっていない。	優先切替。(P20)
お湯が白くにごって見える	水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい泡となって出てくる現象で、無害なものです。	異常ではありません。

こんなときは	こんなことが考えられます	処置
給湯栓から出るお湯の量が変化する	お湯を使用中に、他の場所でお湯を使用したりふろ自動や追いだきをすると、お湯の量が減る場合があります。	異常ではありません。 他の場所での使用をやめたり、ふろ自動や追いだきが終わると、元に戻ります。
	水道の圧力や配管条件によっては、お湯の量が変化する場合があります。また、水栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、お湯の量が変化するものがあります。	異常ではありません。
	お湯の温度を早く安定させるために、初め少なく出てその後安定するなど、出湯量が変化することがあります。	異常ではありません。

お風呂

こんなときは	こんなことが考えられます	処置
設定したふろ温度どおりにお湯はりしない	お湯はり中にふろ温度を低く設定し直した場合、実際のお湯はり完了後の温度は設定温度より高くなる場合があります。	異常ではありません。
お風呂のお湯がぬるい お風呂のお湯が熱い	ふろ温度の設定が合っていない。	ふろ温度を適温に設定する。 (P24)
設定したふろ湯量どおりにお湯はりしない	ふろ湯量の設定が合っていない。	ふろ湯量を適量に設定する。 (P25)
	沸き上がらないうちに、何度もふろ自動スイッチの「切」「入」をくりかえすと、お湯があふれることがあります。	異常ではありません。
	残り湯(水)がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴槽に残っている湯(水)の量だけ、設定したお湯はりの湯量より多くなります。	異常ではありません。
浴槽のふろアダプターから「ポコ、ポコ」と空気の出る音がすることがある	お風呂の配管などにたまった空気が出る音です。	異常ではありません。
ふろ自動が途中で停止した ふろ自動や追いだきの沸き上がりがいつもより遅い	ふろ自動と給湯を同時に使うと、お湯の出をよくするためにお湯はりを一時中断します。そのため、ふろ自動が途中で停止します。	異常ではありません。
追いだき・自動保温ができない 追いだき・自動保温が途中で停止した	浴槽のふろアダプター上部より5cm以上、お湯(水)が入っていない。	確認する。
	サーミスターなし(形状記憶合金式)ふろアダプターの場合(P27)は、自動保温はできません。	異常ではありません。
追いだき時、いつもより湯量が多くなる	停電後、最初の追いだきのときは、いつもより湯量が増えます。	異常ではありません。

故障・異常かな？と思ったら(つづき)

暖房		
こんなときは	こんなことが考えられます	処置
暖房がなかなかあたたまらない	床仕上げ材の種類・外気温度・住宅構造などによって、あたたかくなるまでの時間は異なります。(目安：1時間程度)	異常ではありません。
床暖房の温度変更をしていないのに床面の温度が下がった	床暖房しはじめは、早く床面をあたためるために高温の温水を流し、ある程度時間がたつと、温水を一定の温度に下げます。	異常ではありません。
床面のあたたかさが場所によって異なる	温水配管内に温水を循環させて床をあたためるしくみになっています。温水配管の通っているところと通っていないところでは、床面の温度に多少の差が生じます。	異常ではありません。
床暖房中に音がする	床暖房の熱によって、温水床暖房マットや床仕上げ材などが収縮・膨張するため発生する音、または温水の流れる音です。	異常ではありません。
床暖房を使用していないのに床があたたまることがある	暖房回路内の空気抜きや凍結予防のためにポンプが作動したときに、他の暖房放熱器を使用していると、一時的に床があたたまることがあります。	異常ではありません。
床面の足ざわりが場所によって異なる	温水配管やその接続部などがあるため、床面の足ざわりが周囲と異なる場合があります。	異常ではありません。
床面に凹凸や段差がある	温水床暖房マットを2枚以上併設しているときや、床仕上げ材と周辺の継ぎ合わせ部などには多少の凹凸があるため、光の当たり具合により目立つことがあります。	異常ではありません。
床面の継ぎ目にすき間がある	暖房を使用することにより、乾燥して仕上げ材が収縮し、継ぎ目にわずかなすき間が生じる場合があります。	異常ではありません。
床面が変色した	床仕上げ材に直射日光が長時間当たると、日焼けによる変色やひび割れが生じる場合があります。	カーテンやブラインドで日差しをさえぎる。

リモコンの表示や画面など		
こんなときは	こんなことが考えられます	処置
運転ランプが点灯しない	停電している。 電源プラグが抜けている。	復旧を待つ。 電源プラグの確認を。
時計表示が「- : -」になっている	停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電して時計を表示させると「- : -」になる場合があります。	時計をあわせ直す。(P16)
表示の節電の状態にならない	ユーザー設定の番号2が「2」になっている。 給湯温度を60℃に設定している場合や、ふろ自動ランプ点灯中は、表示の節電はしません。 日中でも低い気温が続く場合は、凍結予防運転が連続してはたらくため、表示の節電にならないことがあります。	P35 異常ではありません。 異常ではありません。
リモコンの画面表示がいつのまにか消えている	リモコンの節電のため、「表示の節電」機能を備えています。お湯や暖房を使わないまま、またはスイッチを押さないまま約10分(浴室リモコンでは、おふろの機能を使った場合約1時間)たつと画面表示が消えます。	異常ではありません。
リモコンのスイッチを押しても、そのスイッチの動作をしないときがある	画面が暗くなっているとき(表示の節電中)にスイッチを押すと、優先スイッチなど、スイッチによっては表示の節電の解除のみするものがあります。	異常ではありません。

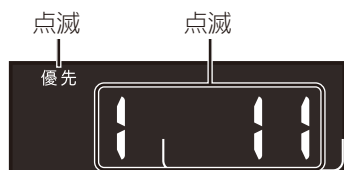
こんなときは	こんなことが考えられます	処置
リモコンのスイッチや表面のビニールが破れてきた、はがれてきた、浮き上がって空気が入っている	表面のビニールは保護シートです。はがさずに使用してもはがして使用してもかまいません。はがさずに使用した場合は、よく触れる部分などが破れてきたりはがれてきたりしますが、そこからリモコンに水が入って故障することはありません。	気になる場合は保護シートをはがす。
リモコンの時計表示部に3桁の数字が点滅している	不具合が生じている可能性があります。	P52

機器全般

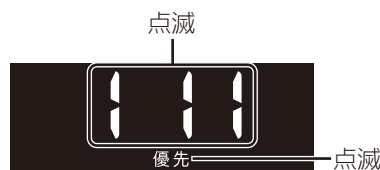
こんなときは	こんなことが考えられます	処置
排気口・給排気筒トップから湯気(白い煙のようなもの)が出る	冬に吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気が白く見えます。	異常ではありません。
	機器を使用していない場合でも、暖房回路の凍結予防時には、白い湯気が出ます。	異常ではありません。
過圧防止安全装置(水抜き栓)から水漏れしている	機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置がはたらき、過圧防止安全装置付の水抜き栓から水滴が落ちることがあります。	異常ではありません。
運転中に停止した	ガス栓・給水元栓が全開になっていない。	ガス栓・給水元栓を全開に。
	断水している。	復旧を待つ。
	給湯栓が充分開いていない。	給湯栓を充分に開ける。
	ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断している。	もよりの大阪ガスに連絡を。
	LPガスの場合、ガスがなくなっている。	他のガス器具が使用できるか確認→使用できなければガス事業者(供給業者)に連絡を。
使用していないのに音がする	【運転を停止しても、しばらくの間機器から音がする場合】 【運転スイッチを「入」「切」したり、給湯栓を開閉したり、機器の使用後しばらくするとクックッ、クーという音がする場合】 再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。	異常ではありません。
	【機器からウーンという音がする場合】 ポンプが自動的に作動する音です。 ●気温が低いとき(凍結予防のため) ●長期間使用しない場合に、暖房回路内にたまった空気を抜き、次回使用するとき支障がないようにするためにポンプが作動します。(約1か月ごと)	異常ではありません。
浴槽や洗面台が青く変色した	水中に含まれる微量の銅イオンと、人体のあかやせっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、浴槽や洗面台が青く着色することがあります。	こまめに掃除をして湯あかやせっけん成分を洗い流すことで、これを予防できます。
ふろアダプターから水が流れっぱなしになる	追いだき中に停電すると、ふろアダプターから水が流れっぱなしになります。	給水元栓を閉める。

リモコンに3桁の数字が点滅している

- 不具合が生じたとき、リモコンの時計表示部に故障表示が点滅します。下表に応じた処置をしてください。



(浴室リモコンの表示例)



(台所リモコンの表示例)

お客さまで対処できるもの

故障表示	原因	処置
011	連続60分以上給湯した	①給湯栓を閉める。 ②リモコンの運転スイッチを「切」にし、再度「入」にして使用する。
111	給湯側の点火エラー	①リモコンの運転スイッチを「切」にする。 ②下記★の事項を確認して問題があれば処置する。 ③運転スイッチを「入」にし、給湯栓を開いて表示が出なければ正常。
113	暖房側の点火エラー	①リモコンの運転スイッチと暖房放熱器の運転を「切」にする。 ②下記★の事項を確認して問題があれば処置する。 ③暖房放熱器の運転を「入」にするか、追いだきスイッチを押して表示が出なければ正常。
130 [※]	燃焼上の不具合(一酸化炭素濃度)	①窓を開けて十分な換気をする。 【ブザーが鳴らないとき】 ②給湯栓を閉める。 ③運転スイッチを「切」にし、再度「入」にする。 【ブザーが鳴るとき】 ②運転スイッチを「切」にする。(ブザーが止まります) ③製品などに異常があるため、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。
152	浴槽の水が少ない、またはない状態で、追いだきをおこなったため	浴槽のふろアダプター上部より5cm以上お湯(水)を入れてから、追いだきをおこなってください。
161	お湯の温度が設定温度より異常に上がりすぎた	①給湯栓を閉める。 ②リモコンの運転スイッチを「切」にし、再度「入」にする。 ③給湯栓をもっと開いて使用する。
152 542 562	断水などで水が通っていない(ふろ自動、追いだき、たし湯、たし水の時)	①給水元栓が開いているか、断水していないか(水栓から水が出るか)を確認する。 ②リモコンの運転スイッチを「切」にし、通水を確認してから再度「入」にして使用する。
901 903	燃焼に異常が生じた	リモコンの運転スイッチを「切」にし、再度「入」にする。 (リセットできない、またはリセットしてもたびたび表示が出る場合は、修理を依頼してください)

※屋内設置形で出ます。

★111,113 表示時の確認事項

- ・ガス栓が開いていなければ、きっちり止まるまで開ける。
- ・ガスメーター(マイコンメーター)がガスを遮断していたら、もよりの大阪ガスに連絡する。
- ・LPガスがなくなっていたら(他のガス器具が使用できなかったら)、ガス事業者(供給業者)に連絡する。

以下の場合、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください

故障表示	原因
043	暖房水が不足している (不凍液を使用している場合は、販売店または、もよりの大阪ガスに不凍液の補給を依頼してください)
101 103	給排気に異常が生じ、安全のために能力を低下させている (機器は使用できますが、安全のため点検を受けてください)
380 [※]	不完全燃焼防止装置(COセンサー)に異常が生じた 不完全燃焼防止装置(COセンサー)が耐用時間を超えた(そのまま放置しておくで使用できなくなります)
661	水量を調節する装置に異常が生じた (しばらく使用はできませんが、必ず販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください) ※ただし、お湯の出始めやお湯の量を変更したときに、設定温度よりも熱いお湯が出たり、高温のお湯が出る場合は、すぐに使用をやめ、販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。
888 [※]	長期間にわたり、機器を使用した場合に表示します。 販売店または、もよりの大阪ガスにご連絡ください。点検のご案内をさせていただきます。(機器は使用できます)
991 993	燃焼に異常が生じた (機器は使用できません)

・ P52～53以外の表示が出るとき
 ・ P52の処置をしてもなお表示がくりかえし出るとき
 ・ その他、わからないとき

※屋内設置形で出ます。

アフターサービスについて

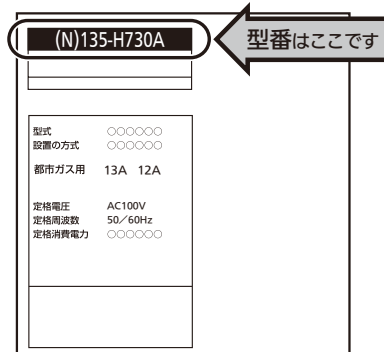
サービスを依頼される時

P48～53の「故障・異常かな?と思ったら」「リモコンに3桁の数字が点滅しているとき<故障表示>」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、もよりの大阪ガスへご連絡ください。

● 連絡していただきたい内容

- 型番……………機器に貼り付けてある銘板または保証書をご覧ください
- 異常の状況……故障表示など、できるだけ詳しく
- ご住所・ご氏名・電話番号
- 訪問ご希望日

【銘板の例】



保証について

取扱説明書の最終ページに保証書がついています。

保証書に記載されている保証期間・保証内容をよくご確認のうえ、大切に保管してください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造中止後10年です。

但し、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで機器を移設される時は、機器(銘板)に表示してあるガスの種類・電源(電圧・周波数)が移設先と合っているか必ずご確認ください。

不明のときは、移設先のガス事業者、販売店または、もよりの大阪ガスにご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設される時は、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

※ガスの種類によっては改造・調整できない場合があります。

BL認定品について

BL認定品には、機器にBLマークを表示しています。

BL認定品は、「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付」です。

ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

(BLマーク)



主な仕様

- 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- 出湯能力は湯水混合の計算値です。ただし、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。
- 型式によっては、該当しないガス種もあります。

● 24号：仕様表

型番	135-H730型	135-H732型	135-H734型	135-H735型	135-H736型	535-H738型
型式名	YG2468R	YG2468RT	YG2468RN	YG2468RM	YG2468RH	YG2468FT
種類	給湯方式 先止め式					設置方式 屋内設置形
点火方式	放電点火式					
水圧	使用水圧 (MPa) 0.1~0.75 (1.0~7.5kgf/cm ²) <推奨水圧 約0.15~0.75 (約1.5~7.5kgf/cm ²)> 作動水圧 (kPa) 10 (0.1kgf/cm ²)					
最低作動流量 (L/分)	3.5					
外形寸法 (mm)	高さ750×幅480×奥行240					
質量 (本体) (kg)	40	41			42	41
接続	ふろ R1/2					
	暖房 (行き・戻り) 高温行き、戻り…CCHM(QF16)ジョイント 低温行き…CHM(QF)ジョイント×3					
	給湯・給水 R3/4					
	ガス 都市ガス…R3/4, LPガス…R1/2					
	オーバーフロー R1/2					
電源	AC100V (50/60Hz)					
消費電力 (50/60Hz) (W)	165/190	195/215	170/195	195/215	200/215	215/240
待機時消費電力	4.0					5.3 (4.0:COセンサー分を除く)
凍結予防ヒーター	177					187
安全装置	立消え安全装置、残火安全装置、空だき防止装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置、空だき安全装置、沸騰防止装置、停電時安全装置、ファン回転検知装置、過電流防止装置、誘導雷保護装置、逆流防止装置、【535-H738型のみ】不完全燃焼防止装置 (COセンサー)					

型番	135-H740型	135-H742型	135-H744型	135-H745型	135-H746型	535-H748型
型式名	YG2467R	YG2467RT	YG2467RN	YG2467RM	YG2467RH	YG2467FT
種類	給湯方式 先止め式					設置方式 屋内設置形
点火方式	放電点火式					
水圧	使用水圧 (MPa) 0.1~0.75 (1.0~7.5kgf/cm ²) <推奨水圧 約0.15~0.75 (約1.5~7.5kgf/cm ²)> 作動水圧 (kPa) 10 (0.1kgf/cm ²)					
最低作動流量 (L/分)	3.5					
外形寸法 (mm)	高さ750×幅480×奥行240					
質量 (本体) (kg)	40	41			42	41
接続	ふろ R1/2					
	暖房 (行き・戻り) CCHM(QF16)ジョイント					
	給湯・給水 R3/4					
	ガス 都市ガス…R3/4, LPガス…R1/2					
	オーバーフロー R1/2					
電源	AC100V (50/60Hz)					
消費電力 (50/60Hz) (W)	155/180	185/205	160/185	180/205	185/205	205/230
待機時消費電力	4.0					5.3 (4.0:COセンサー分を除く)
凍結予防ヒーター	177					187
安全装置	立消え安全装置、残火安全装置、空だき防止装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置、空だき安全装置、沸騰防止装置、停電時安全装置、ファン回転検知装置、過電流防止装置、誘導雷保護装置、逆流防止装置、【535-H748型のみ】不完全燃焼防止装置 (COセンサー)					

主な仕様(つづき)

● 16号 : 仕様表

型番	135-H750型	135-H752型	135-H754型	135-H755型	135-H756型	535-H758型
型式名	YG1668R	YG1668RT	YG1668RN	YG1668RM	YG1668RH	YG1668FT
種類	給湯方式 先止め式 設置方式 屋外設置形					屋内設置形
点火方式	放電点火式					
水圧	使用水圧 <MPa> 0.1~0.75(1.0~7.5kgf/cm ²) <推奨水圧 約0.15~0.75(1.0~7.5kgf/cm ²)> 作動水圧 <kPa> 10(0.1kgf/cm ²)					
最低作動流量 <L/分>	3.5					
外形寸法 <mm>	高さ750×幅480×奥行240					
質量(本体) <kg>	39		40			
接続	ふろ	R1/2				
	暖房(行き・戻り)	高温行き、戻り…CCHM(QF16)ジョイント 低温行き…CHM(QF)ジョイント×3				
	給湯・給水	R1/2				
	ガス	都市ガス…R3/4, LPガス…R1/2				
オーバーフロー	R1/2					
電源	AC100V(50/60Hz)					
消費電力(50/60Hz) <W>	155/185		195/220	160/190	190/215	185/210
	待機時消費電力					4.0
	凍結予防ヒーター					177
安全装置	立消え安全装置、残火安全装置、空だき防止装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置、空だき安全装置、沸騰防止装置、停電時安全装置、ファン回転検知装置、過電流防止装置、誘導雷保護装置、逆流防止装置、【535-H758型のみ】不完全燃焼防止装置(COセンサー)					

型番	135-H760型	135-H762型	135-H764型	135-H765型	135-H766型	535-H768型
型式名	YG1667R	YG1667RT	YG1667RN	YG1667RM	YG1667RH	YG1667FT
種類	給湯方式 先止め式 設置方式 屋外設置形					屋内設置形
点火方式	放電点火式					
水圧	使用水圧 <MPa> 0.1~0.75(1.0~7.5kgf/cm ²) <推奨水圧 約0.15~0.75(1.0~7.5kgf/cm ²)> 作動水圧 <kPa> 10(0.1kgf/cm ²)					
最低作動流量 <L/分>	3.5					
外形寸法 <mm>	高さ750×幅480×奥行240					
質量(本体) <kg>	39		40			
接続	ふろ	R1/2				
	暖房(行き・戻り)	CCHM(QF16)ジョイント				
	給湯・給水	R1/2				
	ガス	都市ガス…R3/4, LPガス…R1/2				
オーバーフロー	R1/2					
電源	AC100V(50/60Hz)					
消費電力(50/60Hz) <W>	145/175		185/210	150/180	180/205	175/200
	待機時消費電力					4.0
	凍結予防ヒーター					177
安全装置	立消え安全装置、残火安全装置、空だき防止装置、過熱防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、漏電安全装置、空だき安全装置、沸騰防止装置、停電時安全装置、ファン回転検知装置、過電流防止装置、誘導雷保護装置、逆流防止装置、【535-H768型のみ】不完全燃焼防止装置(COセンサー)					

● 24号：能力表

使用ガス		1時間あたりのガス消費量(最大消費量) <kW>			出湯能力(最大時)<L/分>	
		給湯+暖房	給湯	暖房	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス	13A	66.9	50.0	高温 16.9 / 低温 11.6	24	15
	12A	62.3	46.6	高温 15.7 / 低温 10.8	22.5	14
L P ガス		66.9	50.0	高温 16.9 / 低温 12.5	24	15

● 16号：能力表

使用ガス		1時間あたりのガス消費量(最大消費量) <kW>			出湯能力(最大時)<L/分>	
		給湯+暖房	給湯	暖房	水温+25℃上昇	水温+40℃上昇
都市ガス	13A	50.3	33.4	高温 16.9 / 低温 11.6	16	10
	12A	46.8	31.1	高温 15.7 / 低温 10.8	15	9.5
L P ガス		50.3	33.4	高温 16.9 / 低温 12.5	16	10

ご参考

設定範囲と初期設定

項目	初期設定	設定範囲
給湯温度<℃>	40	32、35、37~48(1℃きざみ)、60
ふろ温度<℃>	40	37~48
ふろ湯量<リットル>	180	40~260(20リットルきざみ)、300、350、400
リモコンの音量	2	0(消音)、1(小)、2(中)、3(大)
時計表示	(未設定時) - : -	

リモコン音声一覧

●スイッチ操作をおこなったときの音声や、スイッチ操作をしなくても出る音声について、一例を記載しています。

機器の動き	操作と条件	音声(抜粋)	
運転「入」	運転スイッチ「入」	そのとき給湯温度が48℃以下だったら	(運転入音)
		そのとき給湯温度が60℃だったら	(運転入音)熱いお湯が出ます
時計あわせ	時計表示スイッチを約2秒押す	押したとき	時刻が変更できます
		時計あわせ完了	設定しました
お湯の温度変更	【台所リモコンの場合】 設定スイッチで変更 【浴室リモコンの場合】 給湯温度スイッチで変更	給湯温度48℃以下に変更	給湯温度を○度に変更しました
		給湯温度60℃に変更	熱いお湯が出ます 給湯温度を60度に変更しました
		そのリモコンが優先でなかったら	(ピピピ)
優先	優先スイッチ「入」	給湯温度が変更できます	
	優先スイッチ「切」	給湯温度が○度に変更されました	
	優先切替後、給湯温度が60℃になったとき	熱いお湯が出ます 給湯温度が60度に変更されました	
ふろ自動	ふろ自動スイッチ「入」	お湯はりをします	
	お湯はり中の追いだき時	熱いお湯が出ます	
	お湯はり完了が近づくと	(ピピピ)もうすぐおふろが沸きます	
	お湯はり完了	(メロディ)おふろが沸きました	
ふろ温度変更	ふろ温度スイッチで変更	おふろの温度を○度に変更しました	
ふろ湯量変更	ふろ湯量スイッチで変更	押したとき	おふろの湯量を変更できます
		変更すると	おふろの湯量を変更しました
追いだき	追いだきスイッチ長押しで「入」	熱いお湯が出ます	
たし湯	たし湯スイッチ「入」	たし湯をします	
たし水	たし水スイッチ「入」	たし水をします	
ふろ予約	ふろ予約スイッチ「入」	時計あわせをしていなかったら	(ピピピ)
		ふろ予約スイッチで予約完了	予約を設定しました
	ふろ予約解除	予約を解除しました	
音量変更	音量スイッチを押すと	音量が変更できます	
	音量スイッチで変更	音量が変更されました	
呼び出し	呼出スイッチ「入」	(呼び出し音)おふろで呼んでいます	